

# 入善町地球温暖化対策 地域推進計画



平成 22 年 3 月

入善町



# 入善町地球温暖化対策地域推進計画目次

<b>第1章</b>	<b>計画策定の背景</b>	<b>1</b>
第1節	入善町地球温暖化対策地域推進計画策定の目的	1
第2節	地球温暖化問題について	2
1	地球温暖化のしくみ	2
2	温室効果ガス	3
(1)	温室効果ガスの種類と排出源	3
(2)	地球温暖化への寄与度	3
3	地球温暖化問題	4
(1)	地球の平均気温の変化	4
(2)	気温の予測	4
4	国及び県の地球温暖化対策	5
第3節	入善町の概要	7
1	入善町の自然特性	7
(1)	位置と地勢	7
(2)	気象	8
2	入善町の社会特性	9
(1)	人口	9
(2)	交通	10
(3)	廃棄物・し尿処理	11
3	入善町の産業特性	12
(1)	就業構造	12
(2)	事業所・従業者数	13
(3)	農業	14
(4)	商業	15
(5)	工業	15
<b>第2章</b>	<b>計画の基本的事項</b>	<b>17</b>
1	計画の基準年と目標年	17
2	計画の対象とする温室効果ガス	17
3	計画の対象となる者	17

<b>第3章</b>	<b>温室効果ガス（二酸化炭素）排出の状況と削減目標</b>	<b>18</b>
第1節	温室効果ガス（二酸化炭素）排出の状況	18
第2節	温室効果ガス（二酸化炭素）排出量の削減目標	20
<b>第4章</b>	<b>排出削減対策</b>	<b>21</b>
第1節	アンケート調査	21
1	調査内容	21
2	調査結果と回収状況	21
3	調査期間	21
4	調査方法	21
5	実施対象と回収状況	21
6	アンケート集計結果の概要	22
①	地球温暖化に関する関心	22
②	地球温暖化対策への意識	26
③	町民、企業、行政が取り組むべきこと	30
第2節	具体的な施策	32
1	省エネルギー関連施策	35
	CO <sub>2</sub> 10,000トン削減プロジェクト	
	「CO <sub>2</sub> 10,000トン削減実践プログラム・環境家計簿」の配布	35
	CO <sub>2</sub> 10,000トン削減プロジェクト	
	企業モニターの実施	37
2	新エネルギー関連施策	38
	下水浄化センターにおける風力発電の活用	38
	住宅用太陽光発電システム導入補助制度	39
	公民館における太陽光発電の活用	40
	小中学校における太陽光発電	41
	黄色い油田プロジェクト	42
	小水力発電導入の検討	43
3	廃棄物の減量の推進施策	44
	資源回収ステーション（再生広場）の設置	44
	地区ステーションでの資源回収	45
	資源回収団体報償制度	46
	生ごみ処理器具等設置事業補助金制度	47
4	森林による二酸化炭素吸収源対策	48
	森林による二酸化炭素吸収源の確保	48

5	環境教育・啓発施策	49
	エコライフ推進出前講座	49
	「エコライフチャレンジ12」の放送	50
	グリーンカーテンプロジェクト	51
	はじめてのエコライフ教室	52
	環境フェアの開催	53
	●具体的な対策による削減見込み数量	54
	第3節 原単位の変更による二酸化炭素排出削減量の見込み	55
	<b>第5章 計画の推進</b>	<b>56</b>
	第1節 計画の推進体制	56
	第2節 町、富山県地球温暖化防止活動推進員、町民、事業者の役割	56
	1 町の役割	56
	(1) 率先した取り組みの実施	56
	(2) 地域住民等への情報提供と活動推進	56
	2 富山県地球温暖化防止活動推進員及び入善町環境保健衛生協議会	57
	(1) 富山県地球温暖化防止活動推進員	57
	(2) 入善町環境保健衛生協議会	57
	3 町民の役割	58
	(1) 実践プログラムの実施（家庭での省エネルギーの実践）	59
	(2) リサイクルの実施（省資源・ごみの減量化）	62
	(3) 生ごみ処理機の設置（ごみの減量化）	63
	(4) 太陽光発電の設置（新エネルギーの導入）	64
	(5) 環境フェアへの参加	65
	4 事業者の役割	66
	(1) 環境経営の取り組み促進	66
	(2) 創意工夫を凝らした取り組み	66
	第3節 計画の進行管理	67
	1 PDCA サイクルによる運行管理	67
	<b>資料 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会及び庁内検討委員会</b>	<b>68</b>
	<b>について</b>	<b>68</b>
	1. 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会設置要綱	68
	2. 入善町地球温暖化対策地域推進計画庁内検討委員会設置要綱	70
	3. 委員名簿	71
	4. 策定委員会の経過	72



## 第1章 計画策定の背景

### 第1節 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定の目的

近年、地球をとりまく環境問題は深刻な状況にあります。特に二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの抑制による地球温暖化の防止は、世界共通の課題となっています。

我が国においては、エネルギーの石油依存度が極めて高いなど、主要先進国において二酸化炭素排出量が上位となっています。このため、温室効果ガスの削減など地球温暖化対策についての早急な対応と実行が求められています。

このような状況の中で、京都議定書が発効し、日本はその中で温室効果ガスを1990年（平成2年）比で6%削減するという目標を掲げています。さらに、2010年（平成22年）1月26日には、2020年までに1990年比で条件付き25%の温室効果ガスを削減する目標を国連気候変動枠組み条約事務局へ提出しました。

また、県においては「とやま温暖化ストップ計画」を策定し、二酸化炭素の排出抑制に取り組んでいます。

入善町では、平成20年に役場庁舎内での事務事業における二酸化炭素排出削減の行動指針として「地球温暖化防止入善町役場実行計画」を、平成21年には地域特性を活かした環境負荷の少ない新エネルギー導入を推進する「入善町地域新エネルギービジョン」を策定し、地球温暖化対策を推進しています。

本計画は、地球温暖化防止に向けて、町の現状と今後の取り組みを支援、実施していくため、町民・事業者・行政が協働し、地域の特性に応じた地球温暖化対策の行動の指針として、入善町地球温暖化対策地域推進計画を策定します。

## 第2節 地球温暖化問題について

### 1 地球温暖化のしくみ

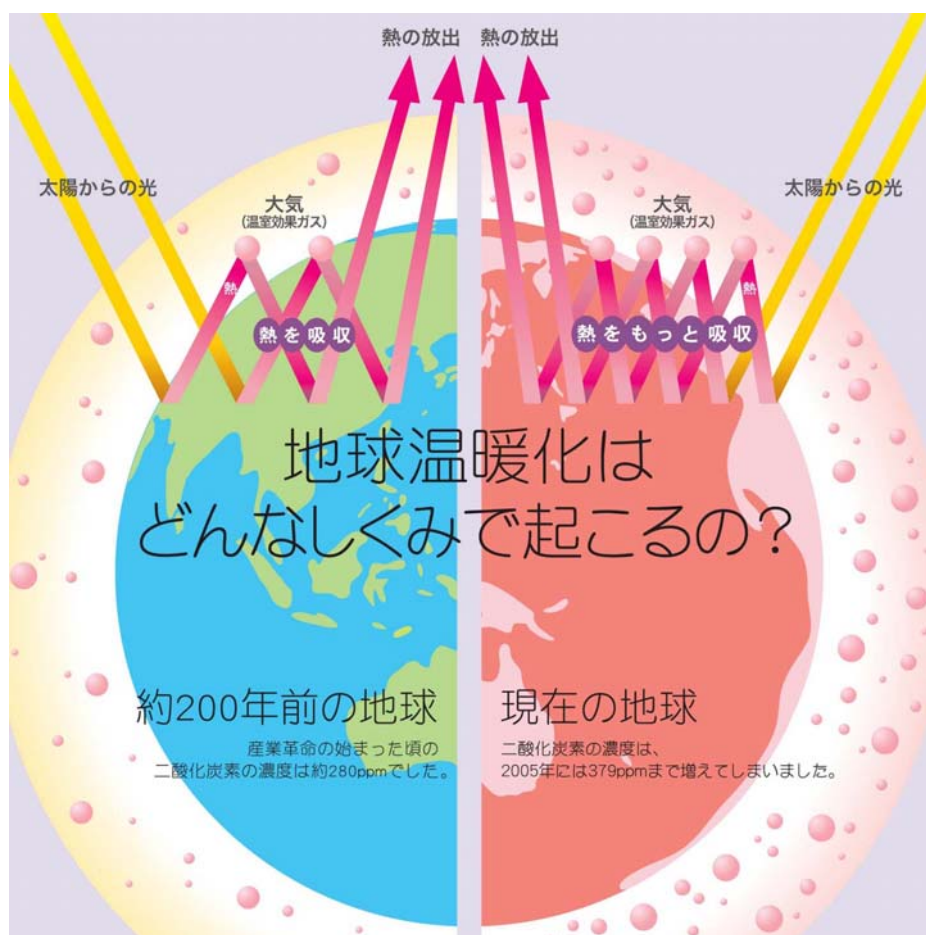
通常、地球では、太陽から届くエネルギーと釣り合ったエネルギーが宇宙へ向けて放出されます。

表面温度約 6,000 度の太陽から届くエネルギーは主に可視光（目に見える光）で届き、これは地球の大気はほぼ透過します。一方、表面温度約 27 度の地球からは目に見えない赤外線という波長でエネルギーが放出されます。

二酸化炭素などの物質はこの赤外線を吸収し、一部を地球側へ跳ね返す性質を持っています。この作用が温室に似ているため、「温室効果」といわれ、その効果をもたらす二酸化炭素などのガスを「温室効果ガス」といいます。

この温室効果ガスが、地球温暖化の原因とされています。

図 1-1 地球温暖化のしくみ



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より



## 2 温室効果ガス

### (1) 温室効果ガスの種類と排出源

二酸化炭素を主とした、主な温室効果ガスは、右の表のとおりです。京都議定書(COP3)は、これらの温室効果ガスの2008年から2012年の排出量を6%削減することを目標としています。

これらCO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、HCF、PFC、SF<sub>6</sub>の6種類は、京都議定書によって削減の対象になっています。

### (2) 地球温暖化への寄与度

右のグラフは、産業革命以後人為的に排出され、地球温暖化に影響を与えてきたとされる温室効果ガスのガス別の割合です。

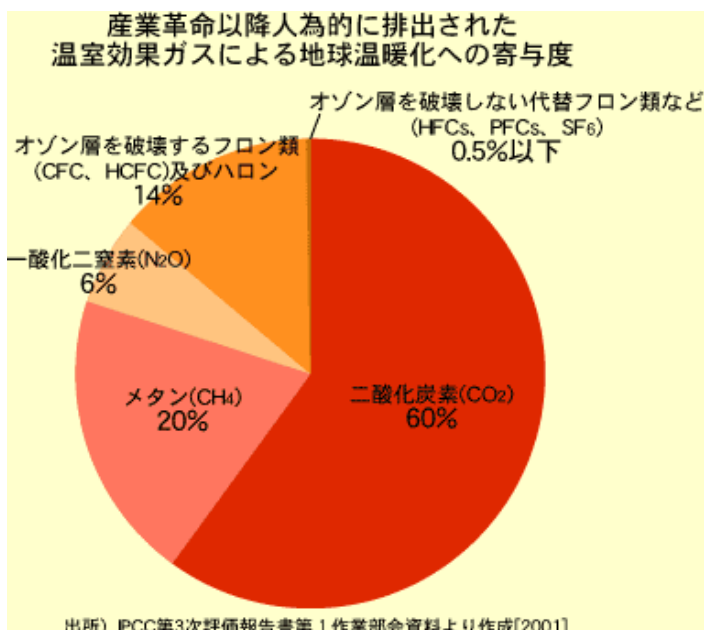
前述のとおり、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)は同一体積における温室効果はその他の温室効果ガスに比べると小さいですが、その排出体積を比較すると莫大であるため、地球温暖化の最大の原因とされています。

大気中には、もともと二酸化炭素などの温室効果ガスが存在していますが、エネルギーの使用などにより、人為的な温室効果ガスの排出が増え、それにより濃度が高まりました。前述のとおり、増えた温室効果ガスにより、宇宙空間への赤外線放射が妨げられ、地表付近の大気の温度が上昇します。

温室効果ガスの種類と排出源

種類	地球温暖化係数	用途・排出源
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	1	化石燃料の燃焼など
メタン(CH <sub>4</sub> )	23	稲作、家畜の腸内発酵、廃棄物の埋め立てなど
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	296	燃料の燃焼、工業プロセスなど
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	数百～数万	スプレー、エアコンや冷蔵庫などの冷媒、化学物質の製造プロセス、建物の断熱材など
パーフルオロカーボン(PFC)	数百～数万	半導体の製造プロセスなど
六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	22,200	電気の絶縁体など

※ 温暖化係数は、温室効果ガスの温室効果の程度を表す値です。



全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jceca.org/>) より

### 3 地球温暖化問題

#### (1) 地球の平均気温の変化

地球温暖化の影響を確認する方法のひとつとして、気温の変化を調べる事が挙げられます。

下のグラフは過去 140 年の地球全体の平均気温の変化です。細い棒グラフは年毎のデータ、実線は、10 年以下の変動を除いてみるための 10 年平均の値をそれぞれ示しています。基準値 (0.0℃) は、1961～1990 年の地球の地上気温の平均値です。

地球の気温は過去 140 年の間に

少しずつ上がり続けていて、特に 1970 年代頃からは気温上昇のペースが急激になっていることがわかります。

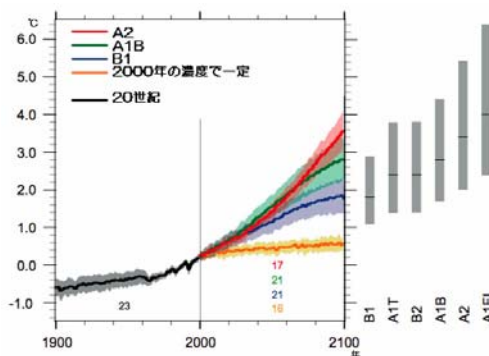


全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

#### (2) 気温の予測

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の第4次報告では、大気、海洋の平均温度や平均海面水位の上昇から、地球に温暖化が起こっていることは疑う余地がないとしています。また、この原因は、化石燃料の使用など人間活動から排出された温室効果ガスの増加によってもたらされたものとほぼ断定しています。

報告では、今後 100 年で地球の平均気温は、1.1℃から 6.4℃上昇すると予測をしています。この予測幅は、これから私たちが築いていく社会経済の「シナリオ」の違いにより生じるものです。つまり、気温の上昇をどれだけ食い止められるか、それにより地球温暖化の影響がどれくらいになるか、ひいては、将来の子孫にどのような自然、環境を残せるかどうかは、これからの私たちの行動にかかっています。



- A1：高成長型社会  
グローバル化による急激な経済成長が続くとしたシナリオ。選択する燃料によってシナリオは3つに分かれている。
  - ・A1Bは、化石燃料と非化石燃料のバランス型シナリオ
  - ・A1F1は化石エネルギー重視シナリオ
  - ・A1Tは非化石エネルギー重視シナリオ
- A2：多元化社会  
地域ごとの特徴を活かし、多様な発展を想定したシナリオ
- B1：持続的発展型社会  
地域間格差が縮小し、経済構造が変化、クリーンで省エネルギーな技術が導入されるシナリオ
- B2：地域共存型社会  
経済、社会、環境の持続可能性を確保するための地域的対策に重点をおくシナリオ

#### 4 国及び県の地球温暖化対策

1990年（平成2年）ごろから環境保全、特に地球温暖化が国際的な問題となってきました。1992年（平成4年）の地球サミット（リオ・デ・ジャネイロ）において、「気候変動に関する国際連合枠組条約」が成立し、気候変動緩和のための政策・措置をとることが義務付けられました。また、第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3、京都1997年（平成9年））では、温室効果ガス削減の数値目標と目標達成期間が合意され、日本は2008～2012年（平成20～24年）までに1990年（平成2年）比で6%の削減を約束しました（京都議定書）。また、2010年（平成22年）1月26日には、2020年までに1990年比で条件付き25%の温室効果ガスを削減する目標を国連気候変動枠組条約事務局へ提出しました。

このような地球温暖化問題への関心の高まりと国際的な取り組みを受けて、我が国でも温室効果ガスの削減に向けたさまざまな取り組みを行ってきました。また、2008年（平成20年）7月、2050年（平成62年）までに二酸化炭素排出量を60～80%削減という長期目標を掲げた低炭素社会づくり行動計画が発表されました。京都議定書の約束最終期間が差し迫り、今後地球温暖化対策の取り組みは強化されていくものと考えられます。

国による取り組みや指導にあわせ、富山県でも独自の計画による取り組みが行われています。

以下に、国と県による、新エネルギーや地球温暖化対策の取り組みを示します。

### 日本の取り組み

地球温暖化防止行動計画	1990年（平成2年）10月 地球環境保全に関する関係閣僚会議で定められた政府による最初の地球温暖化対策。
省エネ・リサイクル支援法	1993年（平成5年） 事業者が行う省エネルギーの促進、海外における二酸化炭素の排出抑制、リサイクル等（3R）の促進、特定フロン等の使用の合理化等の事業活動に対して、国が承認を行い、承認を受けた者に対して、低利融資等の支援策を講じることを目的に制定。
京都議定書	1997年（平成9年） 先進国全体の温室効果ガスの排出を2008年～2012年までに1990年比で少なくとも5%削減することを目指し、目標値を設定。 日本は6%の削減を約束。
地球温暖化対策推進大綱（旧）	1998年（平成10年）6月 地球温暖化対策推進本部が、日本政府各省庁の地球温暖化対策を取りまとめる。毎年進捗をフォローアップ。
地球温暖化対策の推進に関する法律（旧）	1998年（平成10年） 日本の地球温暖化対策に関する基本方針を定めた法律。
地球温暖化対策に関する基本方針	1999年（平成11年） 政府の地球温暖化に関する基本方針を定めたもの。
地球温暖化対策推進大綱（新）	2002年（平成14年） 旧大綱をみなおし、まとめたもの。
京都議定書目標達成計画	2005年（平成17年） 京都議定書の発効を受けて閣議決定。
地球温暖化対策の推進に関する法律（新）	2008年（平成20年） 地方公共団体実行計画等についてみなおしたもの。
低炭素社会づくり行動計画	2008年（平成20年） 2050年までに二酸化炭素排出量を60～80%削減の長期目標を掲げる
コペンハーゲン合意に基づく削減目標	2010年（平成22年） 2009年末に開かれたCOP15に基づき、2020年までに1990年比で25%削減する目標を掲げる。

### 富山県の取り組み

富山県環境基本計画	1998年（平成10年） 環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画。
県庁エコプラン 環境にやさしい県庁行動計画	1998年（平成10年） 県庁の活動に伴う環境負荷を低減することを目的に計画。地球温暖化対策推進法にもとづく実行計画。
新県庁エコプラン ー地球温暖化防止のための富山県庁行動計画ー	2002年（平成14年） 県庁エコプランの継続として、特に温室効果ガスの低減に取り組む。
富山県環境基本計画改定	2004年（平成16年） 改定
とやま温暖化ストップ計画	2004年（平成16年） 地球温暖化対策を地域レベルで計画的・体系的に推進するための計画。
富山県地球環境保全行動計画（地球にやさしいとやまプラン）	地球環境保全のための取り組みについて、県民、事業者、行政のそれぞれの役割分担と具体的な行動を定める。 富山県の地域的な特性を踏まえ、海洋環境の保全や環日本海地域における国際協力の推進を図る。
新県庁エコプラン（2期）	2007年（平成19年）

### 第3節 入善町の概要

入善町地球温暖化対策地域推進計画の策定をするに当たり、本町の自然特性、社会特性、産業特性について以下に示します。

#### 1 入善町の自然特性

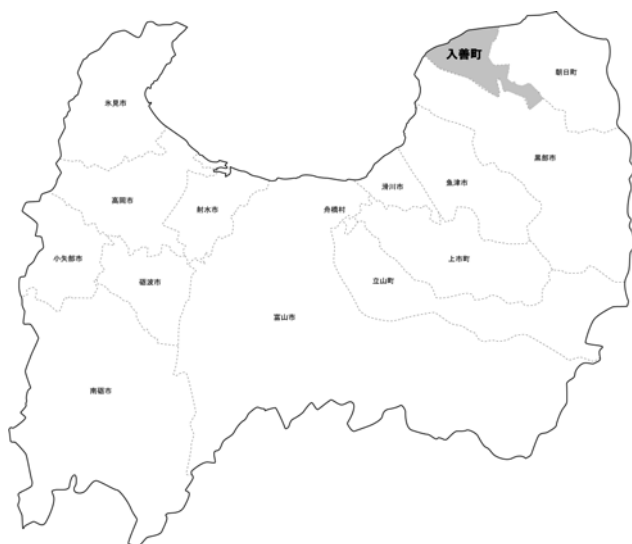
##### (1) 位置と地勢

入善町は富山県の北東部に位置し、一級河川黒部川が形成した我が国の代表的な黒部川扇状地に展開する地域です。東に朝日町、南西に黒部市との境をもち、北は日本海に面しています。

地形は、東西約 12.2km、南北約 16.5km で、周囲約 42.5km、面積は 71.29km<sup>2</sup>です。日本海に面した北側の海岸線は 11.5km、それを底辺として南に尖った三角形をしています。

黒部川は、その力強い流れによって山々を削り取り、多くの土砂を富山湾まで運んでいきます。運ばれた土砂は堆積し、およそ1万年という長い年月をかけて黒部川扇状地を作り出しました。扇状地の多くは陸地に土砂が堆積して作られますが、黒部川扇状地は、海に直接土砂が堆積して海に張り出している臨海性扇状地です。空から見ると、愛本を要にして約60度を開く「扇」の様子がよくわかります。その姿かたちの美しさは、世界でも珍しいものです。

黒部川の水は扇状地の中を伏流水として流れ、湧水となって扇端部で自噴します。扇状地上を流れる豊富な水は、農業用水として利用されています。

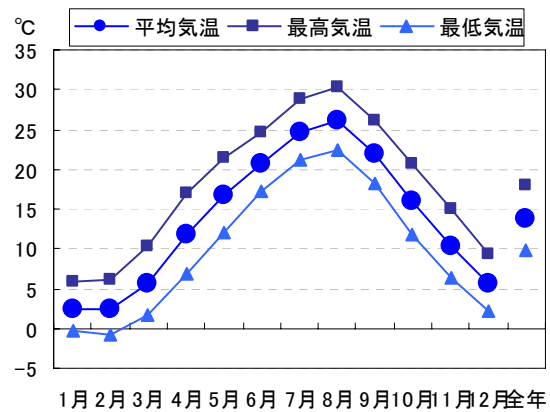
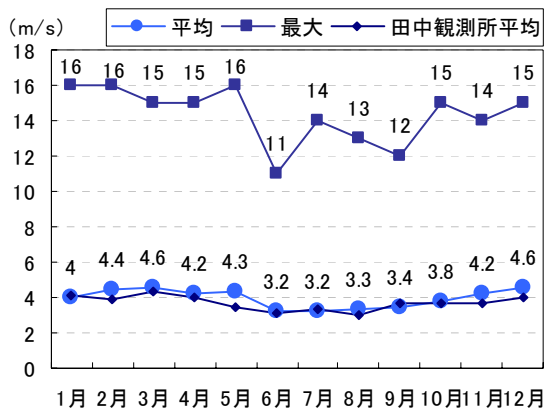


入善町の位置

## (2) 気象

本町に隣接する朝日町泊に設置されている泊観測点のデータによれば、年平均気温は14.0℃、月平均気温では最暖月（8月）が26.1℃、最寒月（2月）が3.0℃で、最暖月の最高気温の平年値は29.6℃、最寒月の最低気温の平年値は0.5℃となっています。夏季3ヶ月（7月から9月）は、最高気温が30℃を超える日が多くありますが、一方で最低気温が0℃を下回る日は冬季3ヶ月（12月から翌年2月）の各月のうち数日で、県内のその他の観測点（魚津市の最寒月の最低気温は-0.5℃、富山市の最寒月の最低気温は-0.7℃、平年値）と比べて、比較的暖かいと言えます。

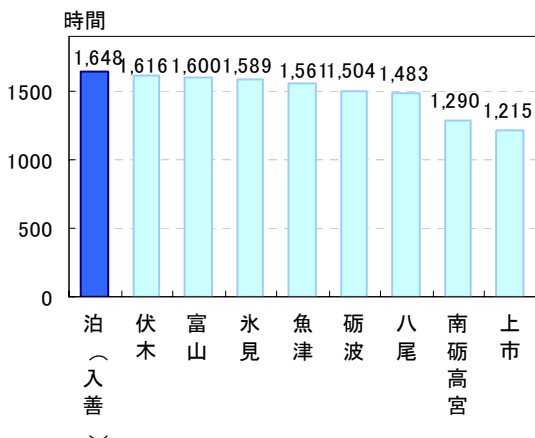
泊観測点での日照時間は年間約1650時間であり、県内の他の地点と比べて最も多く日照に恵まれています。従って、冬季と梅雨期に日照時間が下がる季節的な変動がありますが、本町における太陽光発電による地球温暖化対策の導入可能性を見込めます。



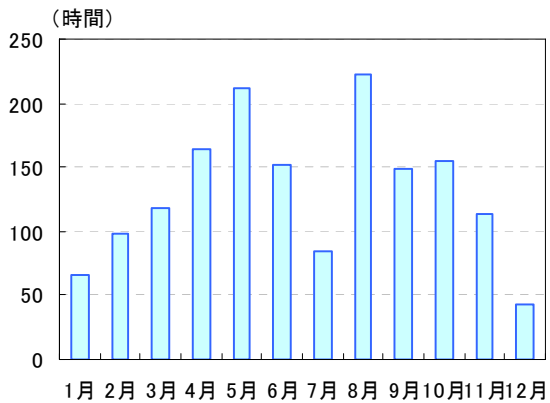
月別平均風速と最大風速\*1)

月別平均、最高、最低気温

\*1) 田中観測所のデータは国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所による。



富山県内の年間日照時間



月別平均日照時間

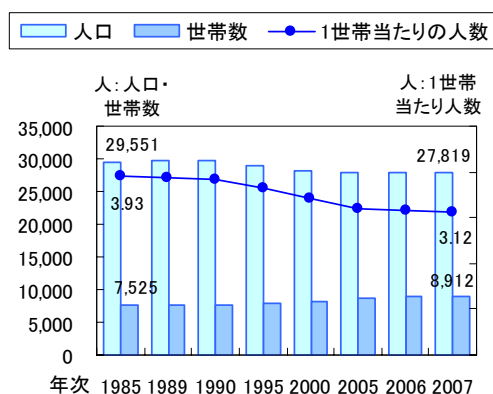
## 2 入善町の社会特性

### (1) 人口

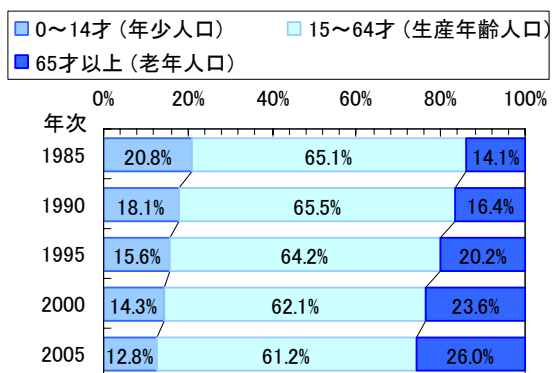
富山県人口移動調査によると、2007年（平成19年）の10月1日時点の人口は27,819人、世帯数は8,912世帯となっています。2005年（平成17年）の国勢調査の調査結果と比較すると、人口は186人（0.7%）の減少、世帯数は198世帯（1.1%）の増加となっています。1985年（昭和60年）からの推移をみても同様の傾向を示しています。

平成に入った1989年からの19年間を見ると、人口は毎年おおよそ0.4%程の割合で減少していますが、世帯数は0.8%程度の割合で増加しています。このため1世帯当たりの人数は減少傾向にあり、1人当たりの家庭でのエネルギー消費量は増加する傾向にあります。

国勢調査による年齢別人口は、老年人口（65歳以上）が増加し、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が減少しており、少子高齢化の傾向を示しています。2005年には町民の4人に1人以上が老年世代に属しています。



人口・世帯数の推移



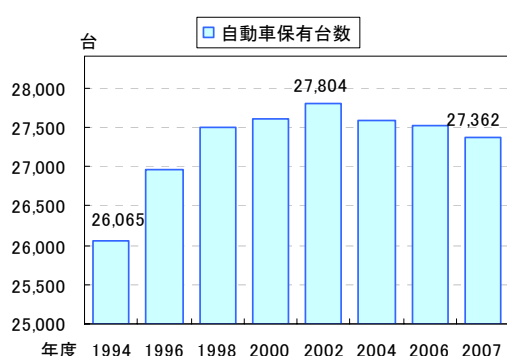
年代別人口割合の推移

(出典：統計にゆうぜん、資料：1989、2006、2007年は富山県人口移動調査。その他は国勢調査。)

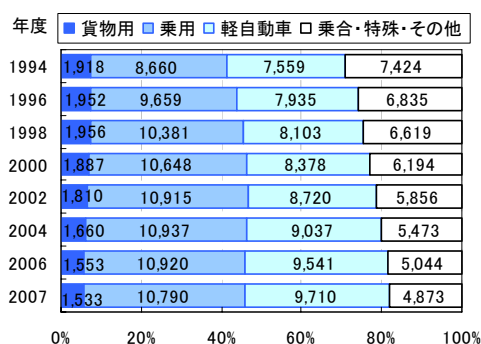
## (2) 交通

本町の自動車保有台数は1994年（平成6年）には26,065台でしたが、2002年（平成14年）には27,804台に達しています。その後はやや減少傾向にありますが、ほぼ横ばいで2007年（平成19年）には27,362台となっています。保有されている自動車を種類別に見ると、乗用自動車はほぼ横ばいで、軽自動車の台数が増加傾向にあります。

一世帯当たりの自動車保有台数は減少傾向にありますが、平均で1.8台以上の自動車を保有している計算となり、全国や富山県全体での平均と比べても一世帯当たりの保有台数は多くなっています。

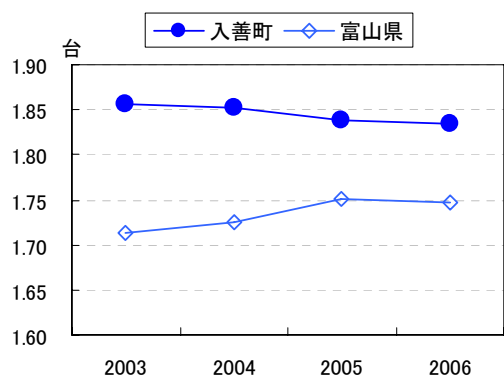


自動車保有台数の推移

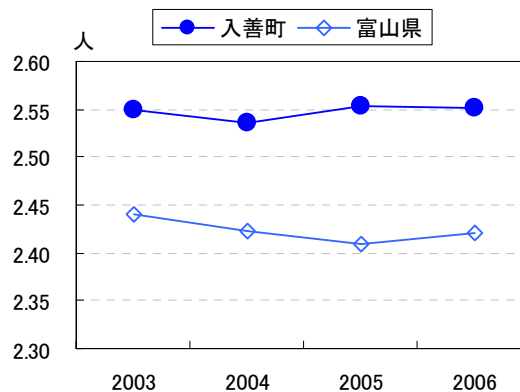


種類別保有台数の割合の推移

(出典：統計にゆうぜん、資料：北陸信越運輸局富山運輸支局)



一世帯当たりの自動車保有台数



乗用車一台当たり人口

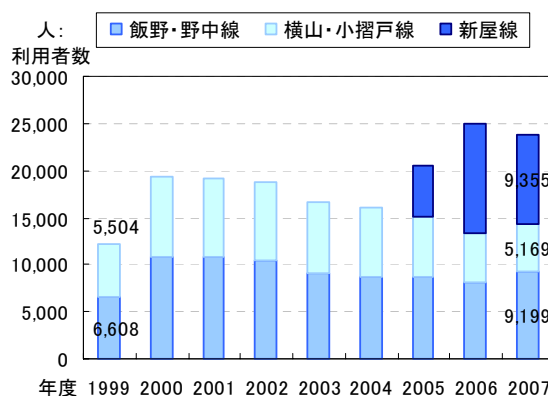
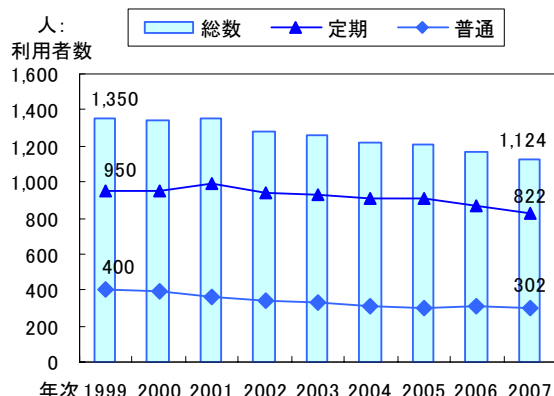
(出典：統計にゆうぜん、資料：北陸信越運輸局富山運輸支局および国勢調査世帯数等から計算)

本町の中心部に位置する JR 入善駅の利用状況は、年々減少傾向にあります。定期券利用者数、普通利用者数ともに減少傾向を示しています。

また、町営バスの乗車人数は、2000年（平成12年）から飯野・野中線および横山・小摺戸線では、やや減少傾向にあります。新屋線では、富山地方鉄道の新屋線が廃止され、町営バスとなり、2007年（平成19年）には9,355人が利用



しています。



入善駅の利用状況  
(出典：統計にゆうぜん、  
資料：西日本旅客鉄道株式会社 入善駅)

町営バス利用状況  
(資料：入善町)

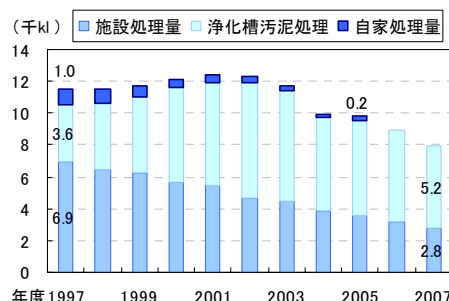
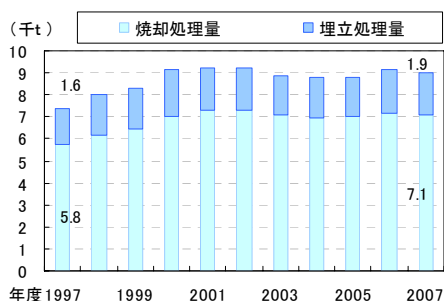
### (3) 廃棄物・し尿処理

2007年(平成19年度)のごみ総排出量は9,038トンで、そのうち焼却処理量は7,113トン、埋立処理量は1,925トンです。2001年度(平成13年度)まで増加傾向にありましたが、その後はほぼ横ばいで推移しています。

また、2007年度(平成19年度)のし尿処理量は8,023kℓで2002年度(平成14年度)までは増加傾向にありましたが、その後は減少傾向にあります。浄化槽汚泥処理量は、2002年度までは増加しその後はやや減少しています。施設処理量は、減少傾向にあります。これらの減少傾向は下水道整備によるものと考えられます。

町内のごみ処理及びし尿処理は、新川広域圏事務組合の各施設で処理され、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の2市2町で連携して処理しています。

本町には、し尿処理施設(中部清掃センター)があり、ごみ処理には、他市町のごみ焼却施設(エコぽ〜と：朝日町)、粗大ごみ処理施設(宮沢清掃センター：黒部市)、埋立処分地施設(一般廃棄物最終処分場：魚津市、宮沢清掃センター 一般廃棄物最終処分場)があります。



ごみ処理の状況

し尿処理の状況

\*自家処理量は推計(2006年からは推計せず)

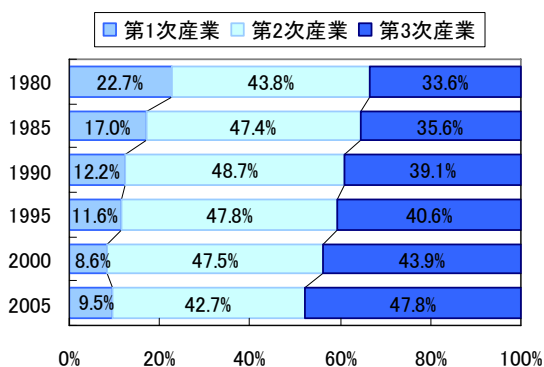
(出典：2007 統計にゆうぜん)

### 3 入善町の産業特性

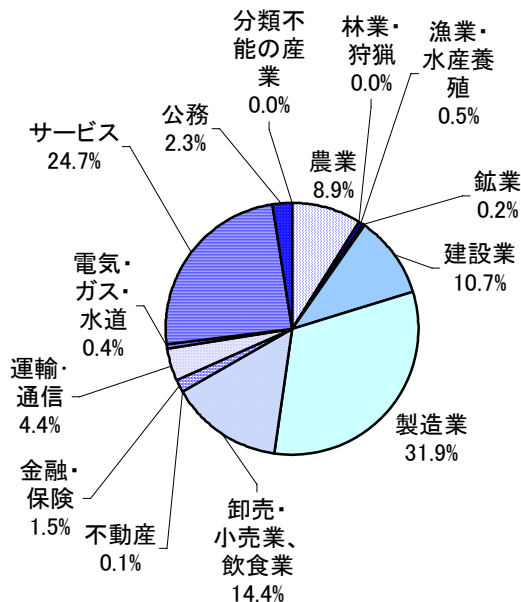
#### (1) 就業構造

2005年（平成17年）の国勢調査による就業者数は15,275人で、産業大分類別では第3次産業が47.8%を占め、次いで第2次産業が42.7%となっており、第1次産業の9.5%を大きく上回っています。1980年（昭和55年）から2000年（平成12年）の調査結果によると、第1次産業は減少傾向、第2次産業はほぼ横ばいで推移し、第3次産業は約14%増加しました。2005年の調査では、第1次産業が若干増加し第2次産業は減少しました。

産業分類別の従業者数構成比をみると、製造業の割合が高く3割以上を占めています。続いてサービス業、卸売・小売・飲食業、建設業となっており、それぞれ24.7%、14.4%、10.7%を占めています。これらの上位4業種を合わせると全体の8割以上を占めています。



産業分類（大分類）別就業者割合の推移



産業分類（中分類）別就業者割合  
2005年（平成17年）

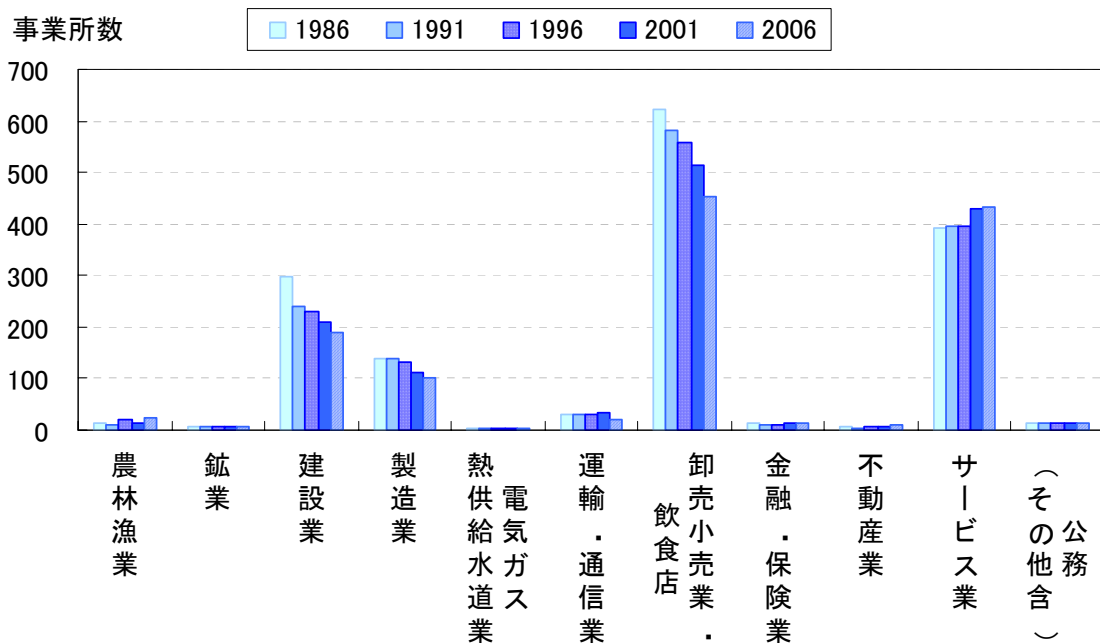
(出典：統計にゆうぜん、資料：平成17年国勢調査の結果)

## (2) 事業所・従業者数

本町の2006年(平成18年)の総事業所数は1,270事業所、また、従業者数は11,427人となっており、1986年(昭和61年)から比較すると、共に年々減少しています。

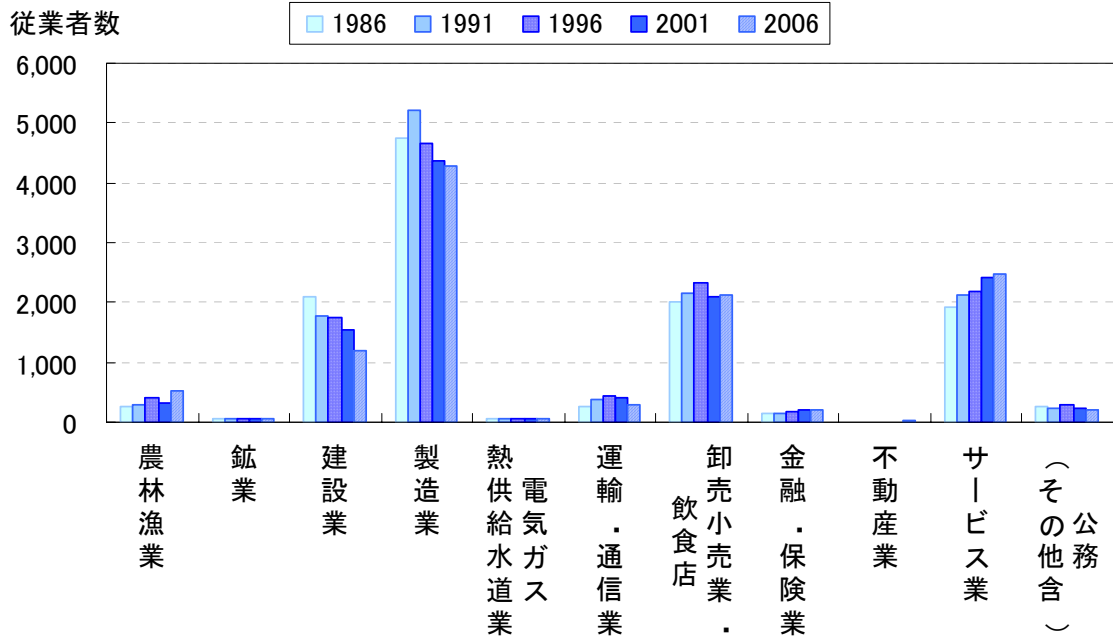
産業類別の事業所数は卸売・小売・飲食業、サービス業の割合が高く、この2業種で全体の約70%を占めています。サービス業が近年増加の傾向を示しているほか、その他の業種ではほぼ横ばいから減少の傾向を示しています。

就業者数は、サービス業で増加の傾向が見られるほかは、卸売小売業・飲食店、建設業、製造業では大きく減少し、その他の業種では、ほぼ横ばいとなっています。



事業所数の推移

(出典：統計にゆうぜん、資料：事業所・企業統計調査)



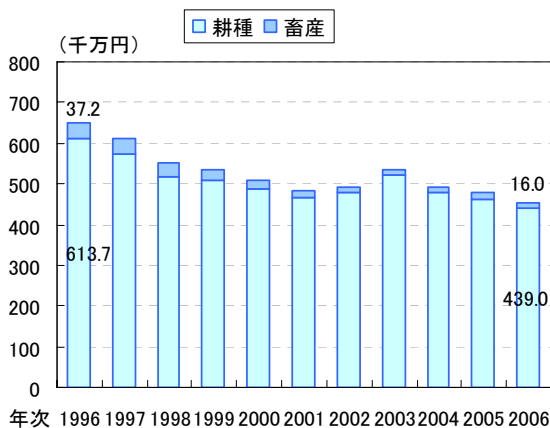
従業者数の推移

(出典：統計にゆうぜん、資料：事業所・企業統計調査)

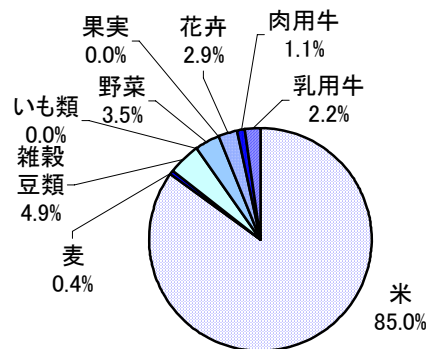
### (3) 農業

農業出荷額の推移を見ると、1996年（平成8年）から2006年（平成18年）の10年間で減少の傾向にあります。

2006年の農業生産額は45億5千万円で、その内訳を見ると、85%を米が占めています。肉用牛、乳用牛等の畜産の割合は減少しており、その他の畑作も含めると耕種が96%以上で、農業出荷額のほぼすべてを占めています。



農業出荷額の推移

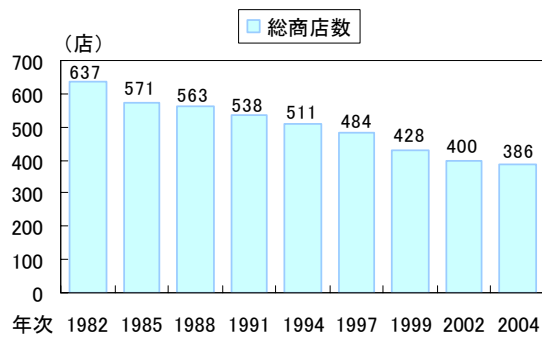


農業産出額の内訳 (2006年)

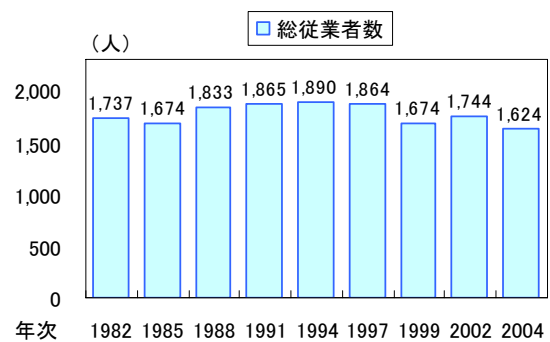
(出典：統計にゆうぜん、資料：農業所得統計)

#### (4) 商業

本町の2004年(平成16年)の商店数は386店、従業者数は1,624人、販売額は約283億円です。これらの推移を見ると、商店数は減少傾向にあります。従業者数はほぼ横ばいとなっています。販売額は1982年(昭和57年)から1991年(平成3年)は増加していますが、その後は減少の傾向が続いています。

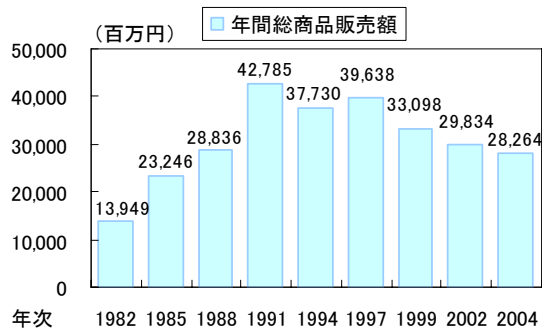


総商店数の推移



商店総従業者数

(出典：統計にゅうぜん、資料：商業統計調査)



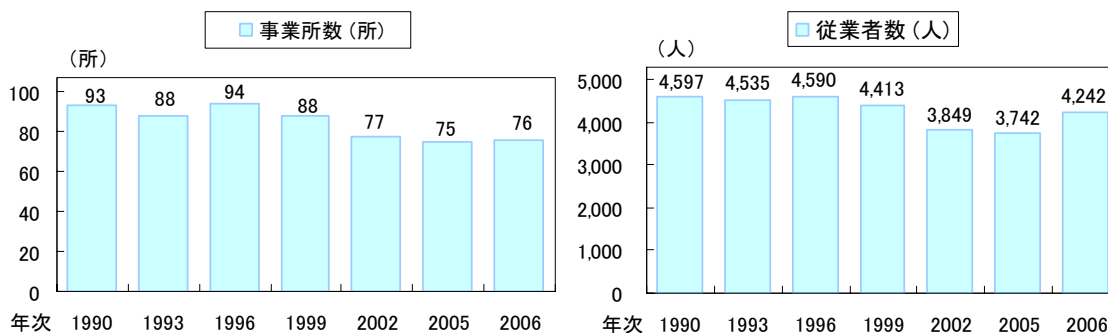
商品販売額の推移

(出典：統計にゅうぜん、資料：商業統計調査)

## (5) 工業

本町の2006年(平成18年)の事業所数は76事業所、従業者数は4,242人、製品出荷額は約832億円となっています。これらの推移を見ると、事業所数は、減少の傾向にありましたが、2002年(平成14年)からはほぼ横ばいとなっています。従業者数は同様に減少傾向にありましたが、2006年に増加しています。一方、商品出荷額は、1993年(平成4年)から1999年(平成11年)まではやや増加の傾向にあり、1999年から2002年にかけて減少しましたが、その後は再び増加の傾向を示しています。

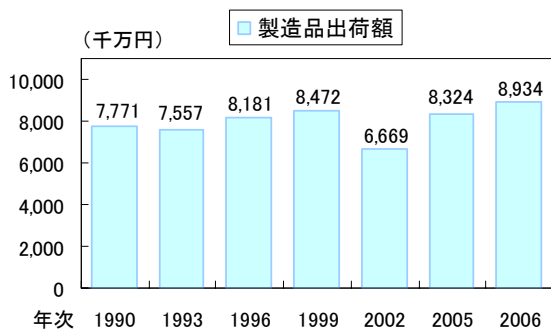
2005年(平成17年)の製造品出荷額の業種別の割合は電子部品・デバイスが37%、輸送用機械器具が29%で、この2業種で全体の6割以上を占めています。



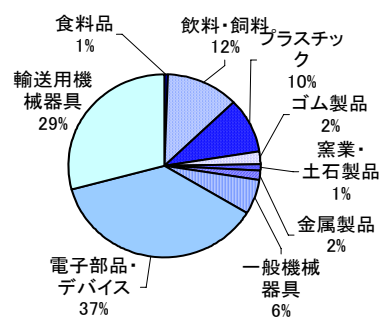
製造業総事業所数の推移

製造業従事者数の推移

(出典：統計にゆうぜん、資料：工業統計調査)



製品出荷額の推移



製品出荷額の内訳(2005年)

(出典：統計にゆうぜん、資料：工業統計調査 全事業所を対象)

## **第2章 計画の基本的事項**

### **1 計画の基準年と目標年**

入善町地球温暖化対策地域推進計画では、入善町での二酸化炭素排出量として把握している 2005 年度を基準年とします。また、計画目標年を 2020 年度とします。

### **2 計画の対象とする温室効果ガス**

地球温暖化対策の効果を示す指標としては、温室効果ガス排出量の数値を用います。

対象とする温室効果ガスは、私たちの生活から最も多く排出され、地球温暖化に与える影響の大きい二酸化炭素を対象とします。

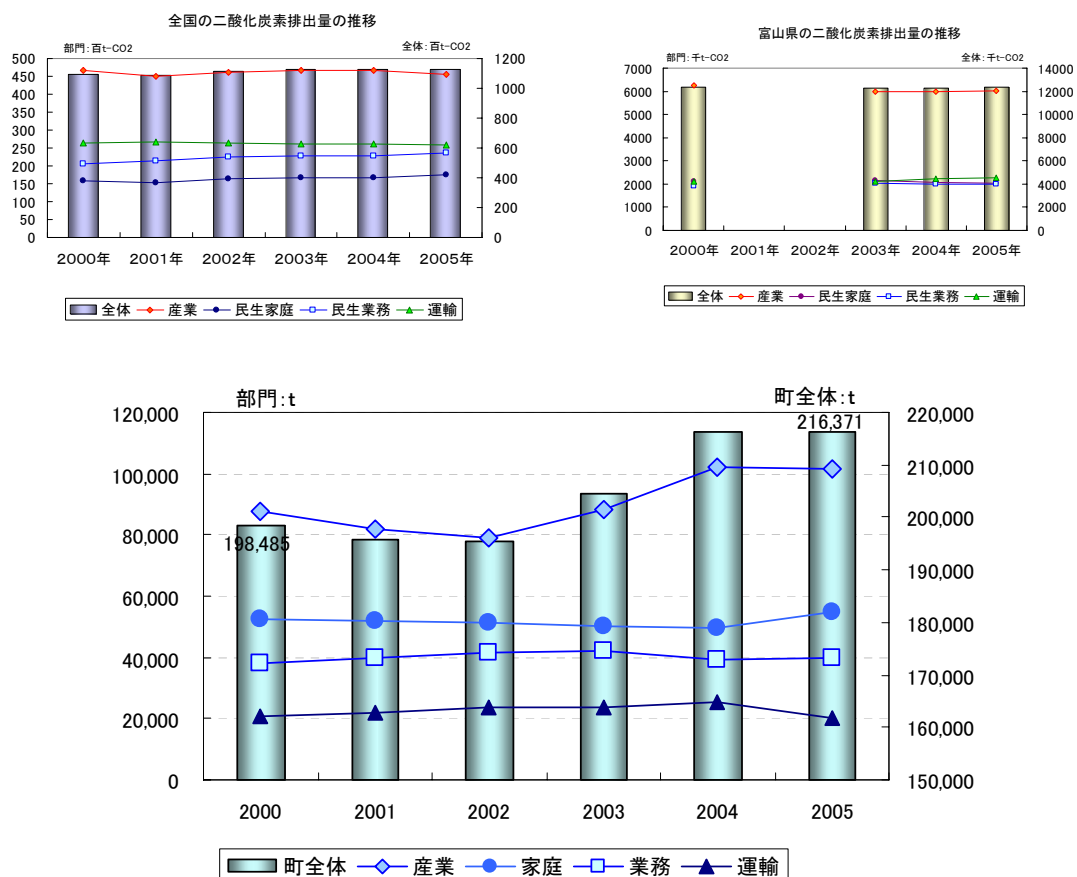
### **3 計画の対象となる者**

入善町地球温暖化対策地域推進計画での二酸化炭素の削減に取り組む対象者は、入善町、町民及び町内事業者とします。

### 第3章 温室効果ガス(二酸化炭素)排出の状況と削減目標

#### 第1節 温室効果ガス(二酸化炭素)排出の状況

入善町地球温暖化対策地域推進計画は、平成 21 年 2 月に策定済みの入善町新エネルギービジョンとの整合性を保つため、入善町内の二酸化炭素排出量を入善町新エネルギービジョンより引用し、二酸化炭素排出の将来予測や地球温暖化対策に活用します。



入善町の二酸化炭素排出量の部門別内訳

(単位: t-CO2)

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
産業	87,486.3	82,098.5	78,931.6	88,463.6	102,074.6	101,571.9
民生家庭	52,333.9	51,979.5	51,504.0	50,213.9	49,400.3	54,644.8
民生業務	38,055.1	40,006.1	41,413.1	42,145.0	39,326.9	39,929.4
運輸	20,609.9	21,730.7	23,456.1	23,657.2	25,436.3	20,224.8
町全体	198,485.2	195,814.8	195,304.8	204,479.7	216,238.1	216,370.9



前頁の図は、全国、富山県、入善町の二酸化炭素排出量の推移です。入善町の二酸化炭素排出量の推移を見ると、2000～2002年度（平成12～14年度）まではほぼ横ばいからやや減少傾向にありましたが、2003年度（平成15年度）からは増加傾向にあります。

部門別に見ると、産業、民生家庭、民生業務、運輸の順に多く排出されています。特徴として、産業は、2000～2002年度（平成12～14年度）の期間に減少傾向にありましたが、2003年度（平成15年度）からは増加傾向にあります。特に2002～2003年度にかけて29.3%増加しています。民生家庭は、2000～2004年度（平成12～16年度）の期間に減少傾向にありましたが、2004～2005年度（平成16～17年度）の期間は増加しています。

2005年時点での  
全国の部門別  
二酸化炭素排出量



2005年時点での  
富山県の部門別  
二酸化炭素排出量



2005年時点での  
入善町の部門別  
二酸化炭素排出量

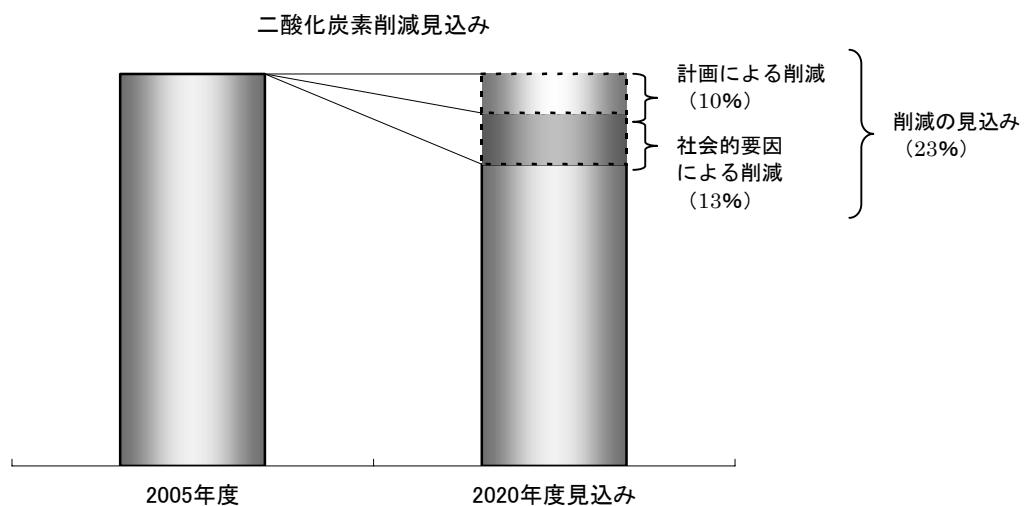


図は、2005年度時点の全国、富山県、入善町それぞれの部門別二酸化炭素排出割合です。入善町での部門別排出割合は、産業が48%、民生家庭が25%、民生業務が18%、運輸が9%でした。全国と比較した場合、産業と民生家庭が高い割合を占めています。

## 第2節 温室効果ガス(二酸化炭素)排出量の削減目標

入善町地球温暖化対策地域推進計画では、計画最終年度の2020年度までに2005年度の二酸化炭素排出量比で23%削減を見込みます。

その内訳として、今後の二酸化炭素削減計画による削減を10%とし、さらに社会的要因による13%の削減と併せて、全体の削減として見込みます。



ただし、この目標については、社会情勢や地球温暖化対策による二酸化炭素排出削減諸施策の実施により適宜修正を加えていきます。

## 第4章 排出削減対策

### 第1節 アンケート調査

地球温暖化対策の策定や普及には、行政だけでなく、町に暮らす町民の理解や協力が必要です。このため、町民が現状の地球温暖化問題やこれからの地球温暖化対策にどのような意識や考えを持っているかを把握することを目的として、町民を対象としたアンケートを実施しました。

#### 1 調査内容

- (1) 地球温暖化問題についての関心・認知度の把握
- (2) 現状での地球温暖化対策の実施状況
- (3) これからの地球温暖化対策への意識

#### 2 調査対象と回収状況

町民を対象に実施

#### 3 調査期間

平成21年10月23日～平成21年11月6日（7日回収締切）

#### 4 調査方法

選挙人名簿から無作為抽出し、郵送で配布・回収（無記名）

#### 5 実施対象と回収状況

20代～70代男女各40名の計480名の町民を対象

245名回収（51%の回収率）

選択項目	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	28	11.4%	14	14.7%	14	10.5%	0	0.0%
30代	34	13.9%	14	14.7%	19	14.3%	1	5.9%
40代	47	19.2%	21	22.1%	24	18.0%	2	11.8%
50代	47	19.2%	18	18.9%	29	21.8%	0	0.0%
60代	54	22.0%	20	21.1%	27	20.3%	7	41.2%
70代以上	35	14.3%	8	8.4%	20	15.0%	7	41.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	245	100.0%	95	100.0%	133	100.0%	17	100.0%

## 6 アンケート集計結果の概要

### アンケート結果の概要

町民が地球温暖化問題やその対策等に関してどのような考えを持っているのかを把握する目的で、町民を対象に郵送によるアンケートを実施しました。

なお、以下に示すグラフは、四捨五入をして数値を示していることにより、合計が100%にならない場合があります。

#### ①地球温暖化に関する関心

地球温暖化問題を「知っている」と答えた人は全体の88.6%、「非常に関心がある」または「関心がある」と答えた人は82.4%で、認知度、関心ともに高い結果があらわれました。

世代別に関心を比較すると、若年層はやや関心が低くなりました。

図 1-1 地球温暖化の認知度

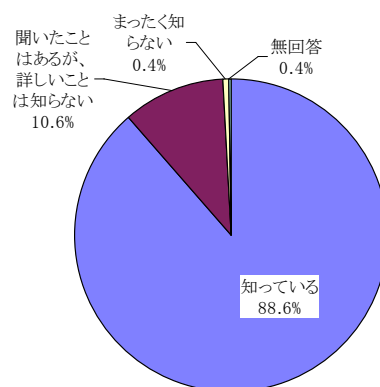


図 1-2 地球温暖化への関心度

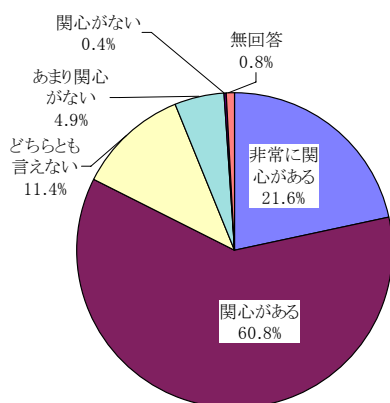
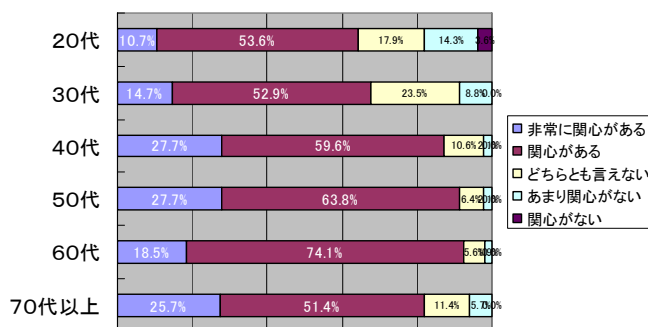
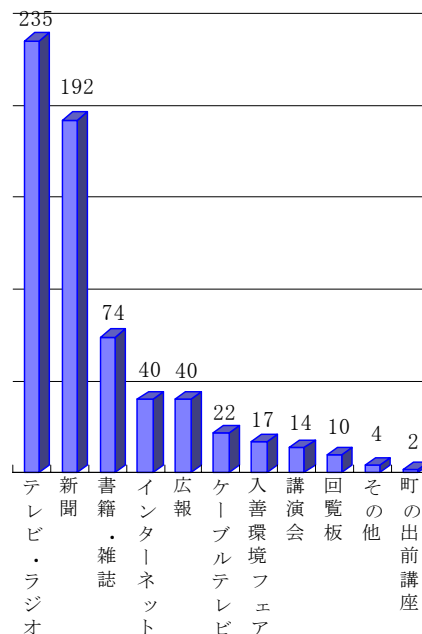


図 1-3 地球温暖化への関心度（年代別）



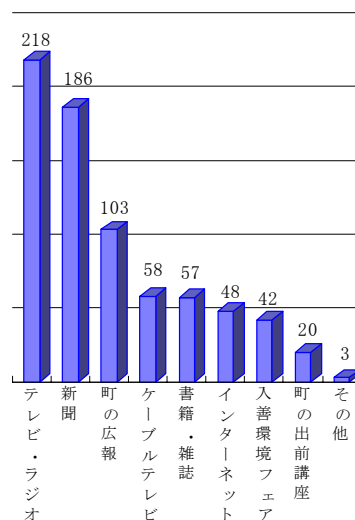
地球温暖化に関する情報源は、テレビ・ラジオが最も多く、新聞、書籍・雑誌、インターネット、広報と続きました。

図 1-4 地球温暖化の情報源



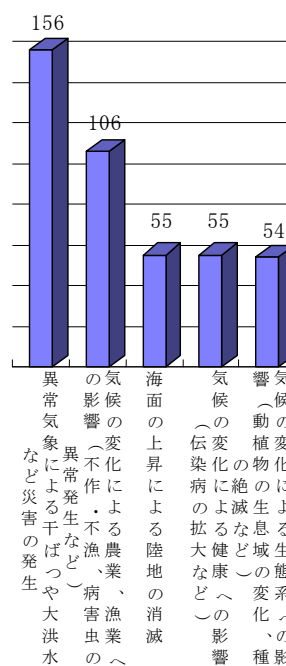
また、地球温暖化の情報源の希望としては、テレビ・ラジオが同じく高くなりましたが、町の広報やケーブルテレビの比率も高くなりました。

図 1-5 地球温暖化の情報源の希望



地球温暖化で不安に感じることは、「異常気象による干ばつや大洪水の発生」がもっとも多く、「気候の変化による農業、漁業への影響（不作・不漁、病虫害の異常発生など）」、「海面の上昇による陸地の消滅」、「気候の変化による健康への影響（伝染病の拡大など）」、「気候の変化による生態系への影響（動植物の生息域の変化、種の絶滅など）」、と続きました。

図 1-6 地球温暖化で不安に感じること



地球温暖化は進んでいると思うかの問いに対し、90.3%の人が「思う」と回答しました。「思う」と回答した人のうち、地球温暖化が進んでいると思う理由としては、「雪が積もらなくなった」がもっとも多く、「一年を通して気温が高くなった」、「異常気象が多くなった（大雨・強風・干ばつ・冷夏など）」、「昔見ることができた動植物がいなくなった」、「今まで見なかった動植物が現れた」と続きました。

図 1-7 地球温暖化は進んでいると思うか

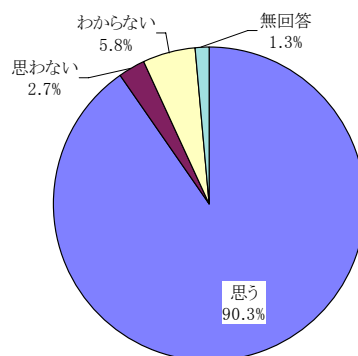
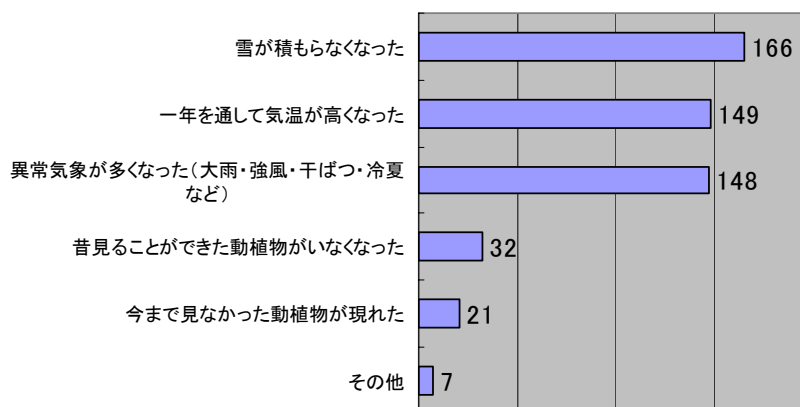
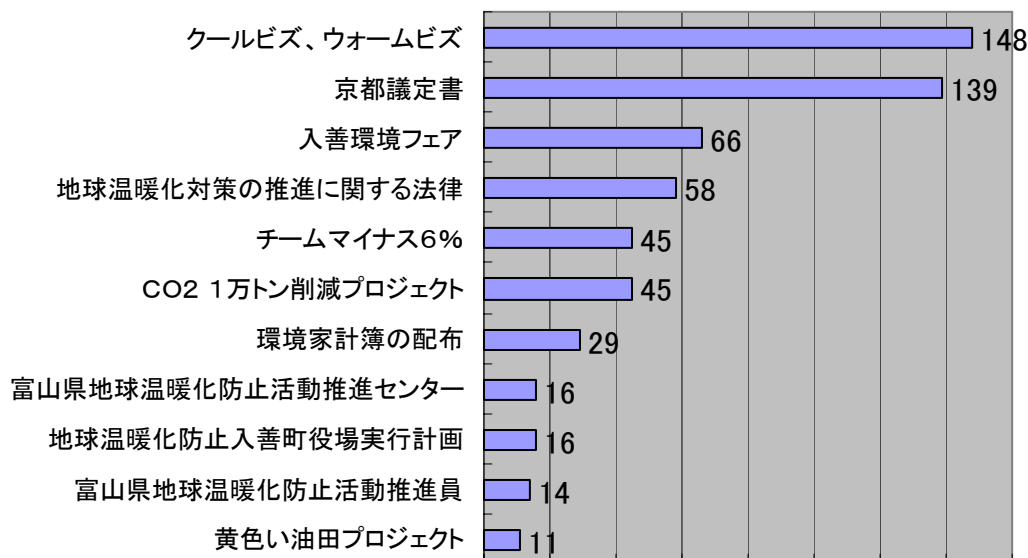


図 1-8 地球温暖化は進んでいると思う理由



地球温暖化に関する取り組みで知っているものとしては、「クールビズ、ウォームビズ」が最も多く、入善町の取り組みとしては、環境フェアがもっとも多くなりました。

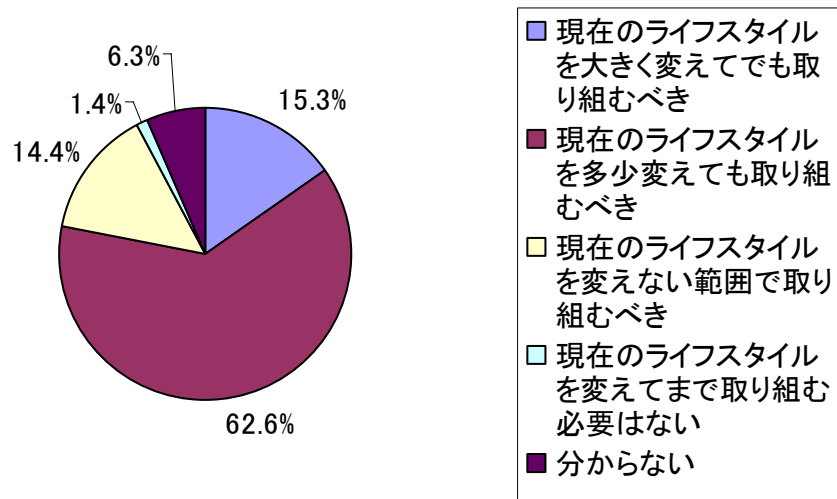
図 1-9 地球温暖化に関する取り組みで知っているもの



## ②地球温暖化対策への意識

地球温暖化問題について、どのように取り組むべきかの問いに対し、「現在のライフスタイルを大きく変えてでも取り組むべき」または、「現在のライフスタイルを多少変えても取り組むべき」と答えた人は、77.9%で、地球温暖化対策に向けて現在のライフスタイルを変えるべきと考えている人の割合が高くなりました。

図 2-1 地球温暖化問題について、どのように取り組むべきか





家庭で実践している地球温暖化対策の取り組みについては、省エネルギー関連、自動車関連、廃棄物関連それぞれで、ほぼすべての人が何らかの取り組みをしていると答えました。

その反面、地域での地球温暖化対策の取り組みは、20.2%の人が「参加したことがない」と回答しています。

地域での地球温暖化対策の取り組みにおいて、参加したことがあるもの、今後参加してみたいものともに「地区での資源、廃品回収」がもっとも多くなりました。

図 2-2 実践している省エネルギーの取り組み（複数回答）

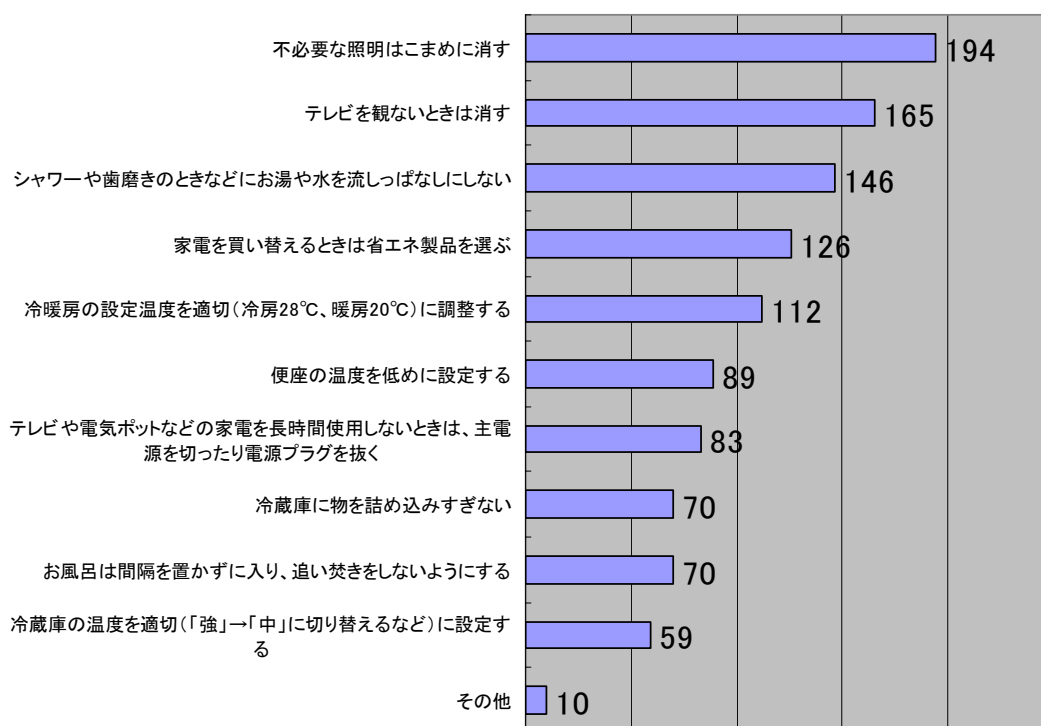


図 2-3 実践している自動車の利用に関するの取り組み（複数回答）

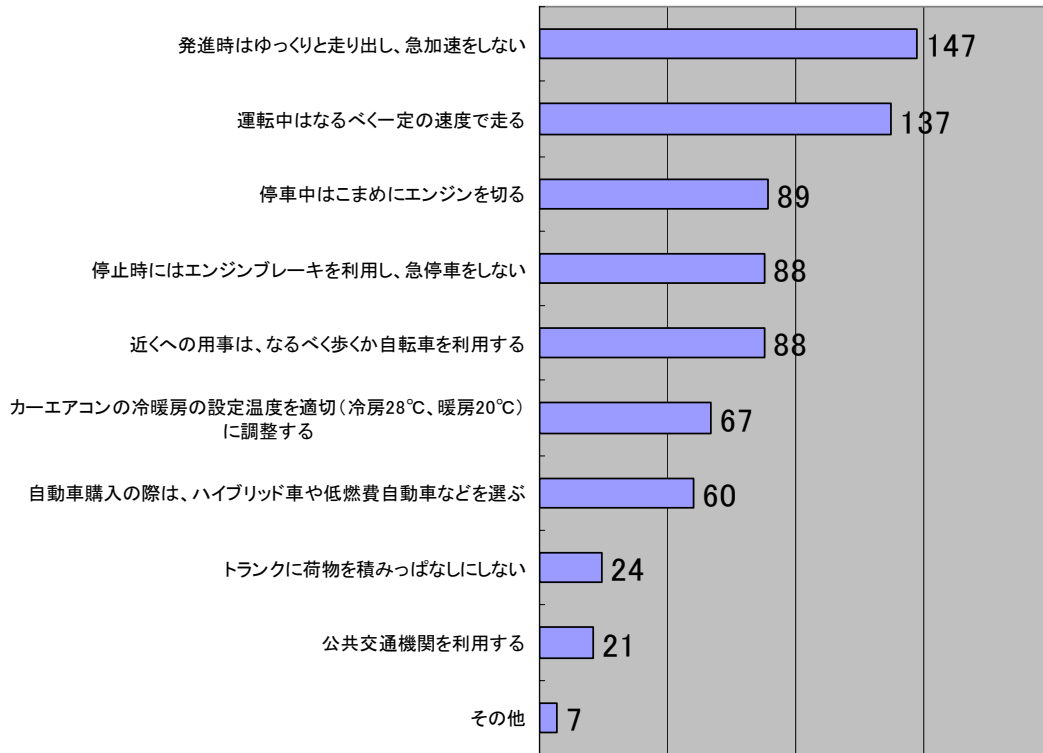


図 2-4 実践しているリサイクル、ごみの減量化に関するの取り組み（複数回答）

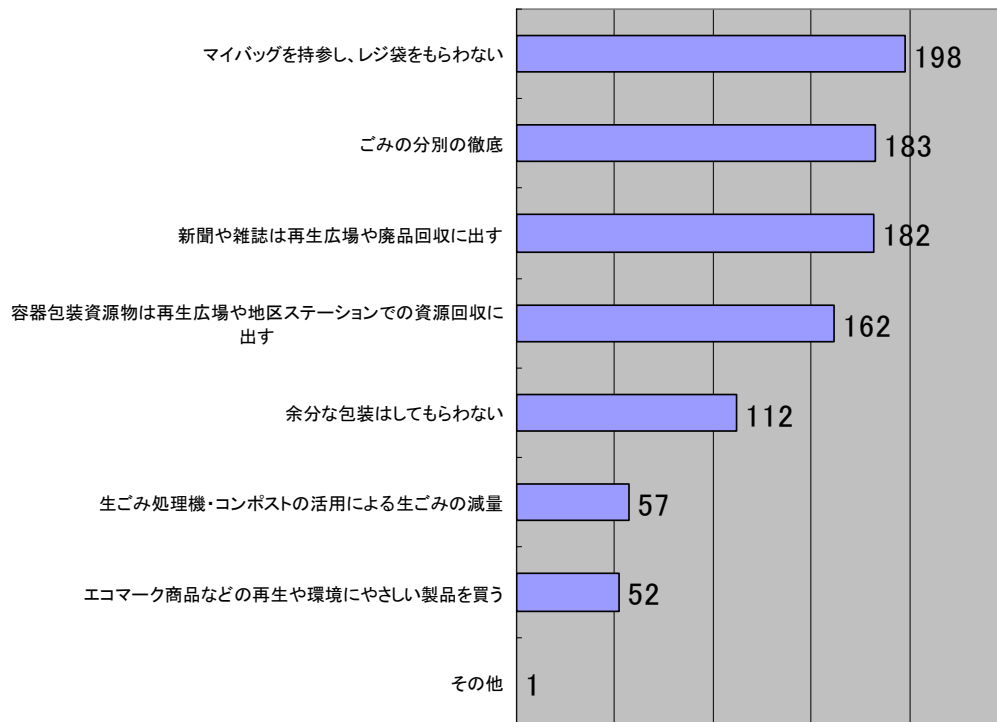


図 2-5 これまでに参加したことがある地域での取り組み（複数回答）

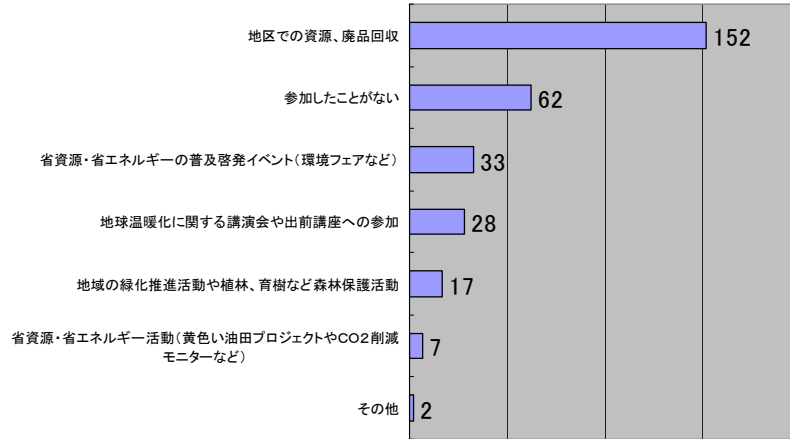


図 2-6 「参加したことがない」人が取り組みに参加しない理由

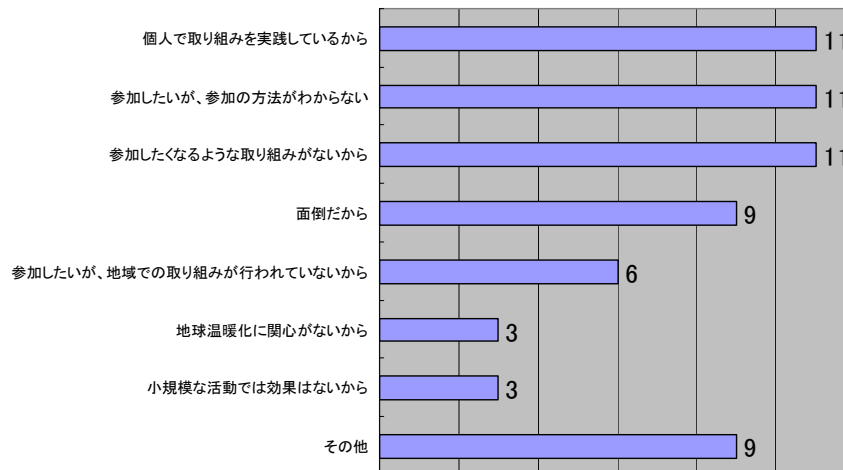
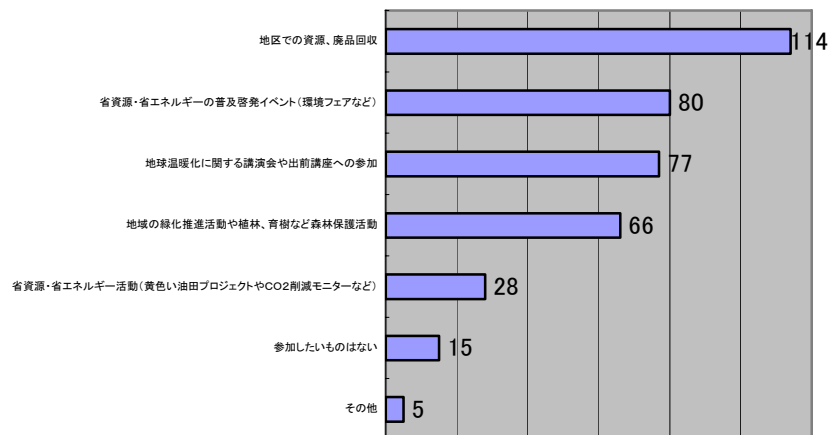


図 2-7 今後、参加してみたい地域での取り組み



### ③町民、企業、行政が取り組むべきこと

町民、企業、行政が取り組むべきことの問いでは、それぞれの分野で上位に「省資源・省エネルギーの実施」、「省エネルギー設備の導入」が入りました。これによって、現段階での町民における地球温暖化対策の要点は、省エネルギーとして捉えられていることがわかりました。

図 3-1 町民が取り組むべきこと（回答は3つまで）

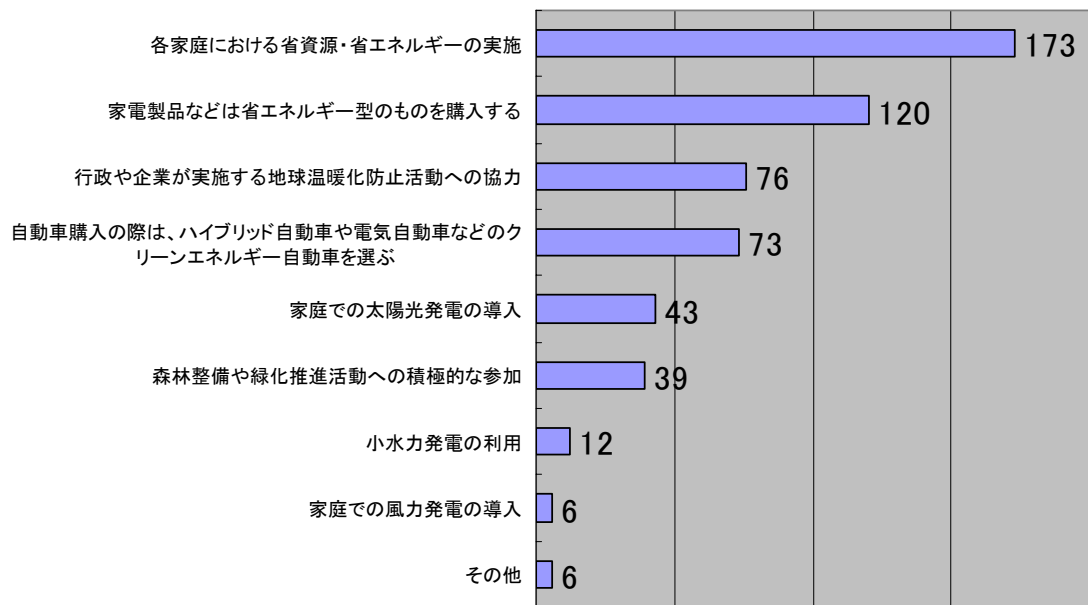


図 3-2 企業や団体が取り組むべきこと（回答は3つまで）

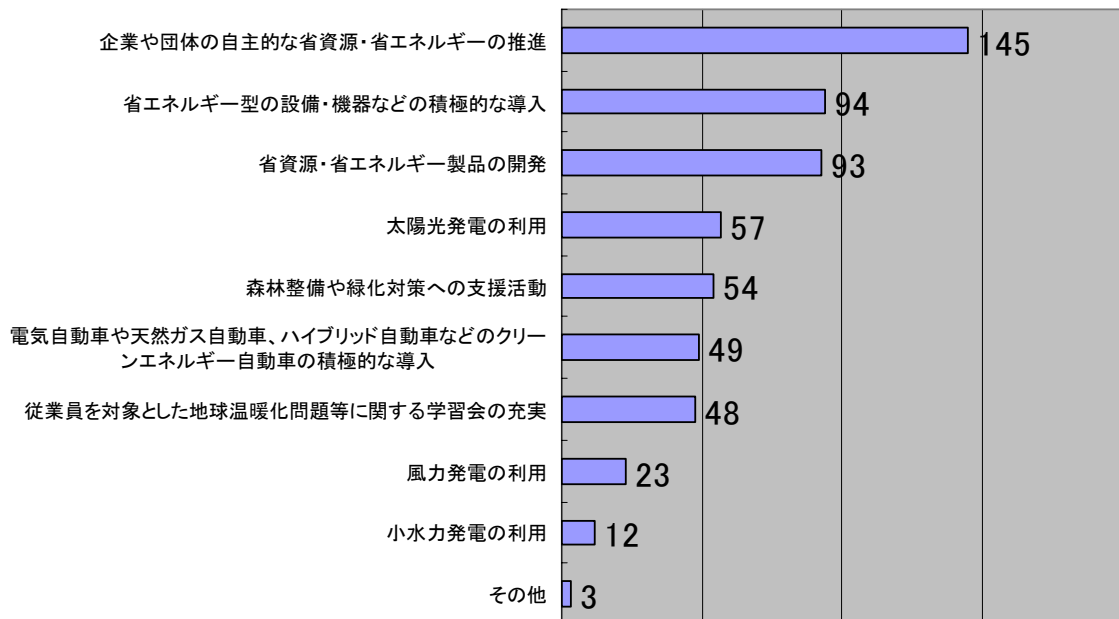
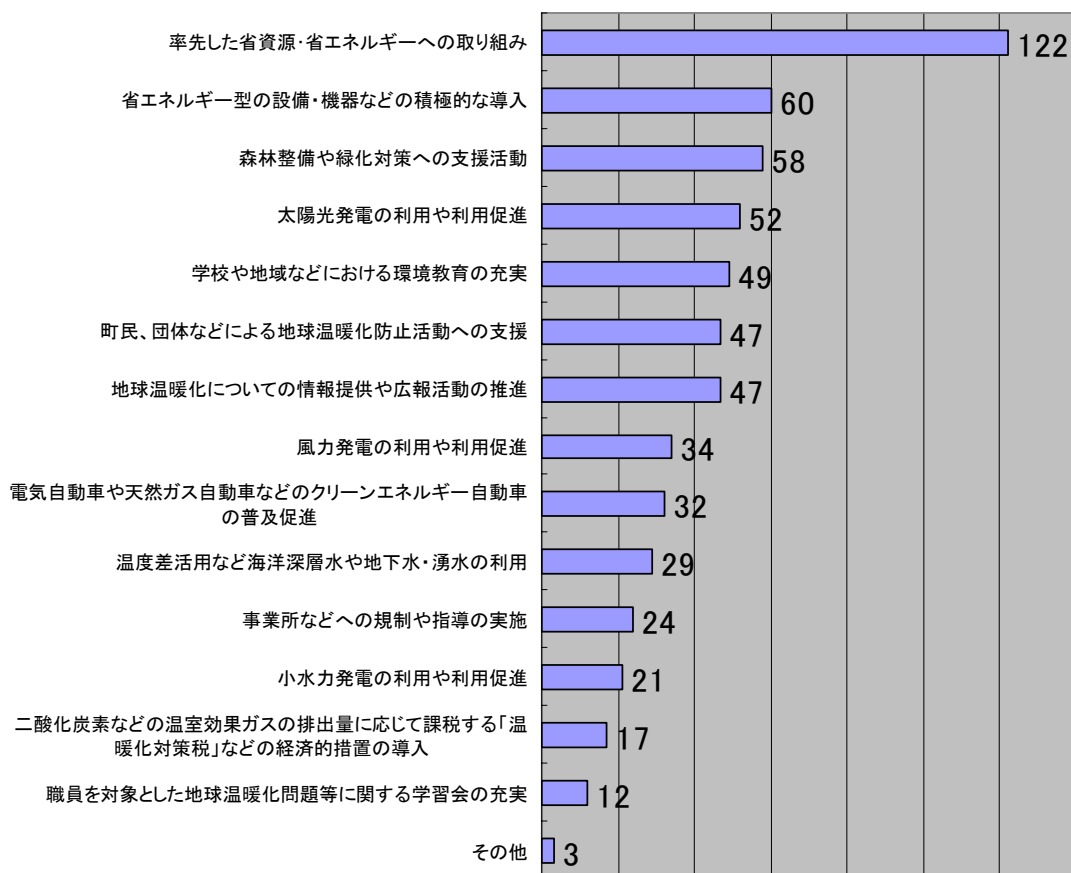


図 3-3 行政が取り組むべきこと（回答は3つまで）



## 第2節 具体的な施策

入善町地球温暖化対策地域推進計画では、具体的な温室効果ガス排出量削減の施策を省エネルギー関連、新エネルギー関連、廃棄物の減量の推進、森林による二酸化炭素吸収源対策及び環境教育・啓発の5つの分野に分けて策定します。

### 1 省エネルギー関連施策

省エネルギー関連施策は、町民や事業者が温室効果ガスの排出の抑制等に関する活動の促進に関する施策です。

町では、平成20年度より取り組み始めたCO<sub>2</sub>10,000トン削減プロジェクトにおいて、省エネルギー関連施策を行っています。「CO<sub>2</sub>10,000トン削減実践プログラム・環境家計簿」の配布により民生家庭部門及び企業モニターの実施による産業部門の温室効果ガス削減に取り組みます。

### 2 新エネルギー関連施策

新エネルギー関連施策は、太陽光、風力及び小水力等化石燃料以外のエネルギーであって、入善町の自然的条件に適したものの利用促進に関する施策です。新エネルギー導入施策として、町では、平成21年に地域特性を生かした新エネルギーの導入を推進する「入善町地域新エネルギービジョン」を策定しました。

また、入善下水浄化センターでの風力発電や地区公民館での太陽光発電などが公共施設で稼動しています。さらに、住宅用太陽光発電システム導入事業補助金制度により、民生家庭部門での新エネルギー導入の支援を継続します。これら新エネルギーの普及を図る一方、今後は、国や県が二酸化炭素削減に関する諸施策の実施に際して、広く町民への普及を図れるよう対応していきます。

一方、JAみな穂農業協同組合が実施している黄色い油田プロジェクトでは、廃食油をBDF燃料化することで新エネルギー化を行っています。

### 3 廃棄物の減量の推進施策

廃棄物の減量の推進施策は、入善町における廃棄物等の発生の抑制や循環型社会の形成に関する施策です。

町では、資源ごみ回収常設ステーション（再生広場）や各地区ごみステーションでの資源回収を実施するなど、リサイクルの機会を提供しています。また、資源回収団体報奨制度により、各種団体の資源回収活動を支援しています。

そのほか、生ごみ処理器具等設置事業補助金制度により、家庭での生ごみ処理機の購入を補助しています。

#### 4 森林による二酸化炭素吸収源対策

生活の中で発生した二酸化炭素は、森林によって吸収され、自然界へと還元されます。

現有森林のほかに、緑化推進による森林の拡張を二酸化炭素吸収源として算定しています。

#### 5 環境教育・啓発施策

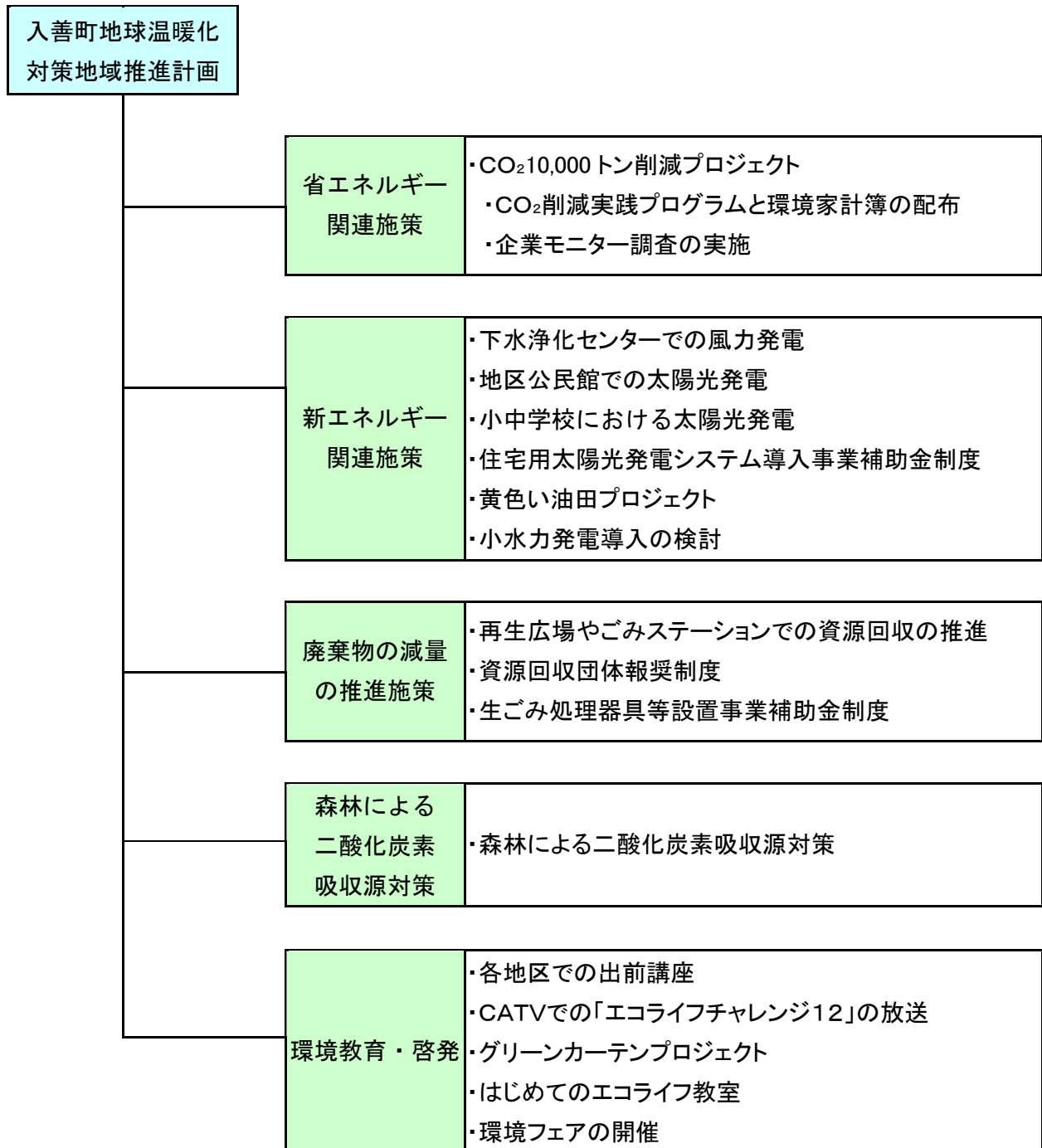
環境教育・啓発施策は、町民においての地球温暖化問題や入善町が取り組む地球温暖化対策の施策への理解を深めてもらうことに関する施策です。

町では、各地区への出前講座やCATVでの「エコライフチャレンジ12」による地球温暖化対策の啓発を実施しています。また、公共施設などでの緑化を推進することで、冷房等の省エネルギー化に加え、目に見える地球温暖化としての啓発も行います。

環境教育としては、富山県地球温暖化防止活動推進員による幼児を対象とした「はじめてのエコライフ教室」の開催や入善町環境保健衛生委員による地域住民への啓発に努めます。


また、入善環境フェアの開催し、町民、事業所及び行政が一体となった地球温暖化問題への共通の認識を深め、二酸化炭素排出の削減及び抑制への意識高揚を図ります。

具体的な施策体系図





## 1 省エネルギー関連施策

CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減プロジェクト 「CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」の配布	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	家庭での地球温暖化対策の推進・普及啓発
目的・意義	入善町における民生家庭部門の温室効果ガス排出削減対策とその啓発
対象	町内全世帯
削減効果	4,155t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>「CO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」を全戸配布。また、町のホームページからもダウンロードすることができる。</p> <p>この「CO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラム・環境家計簿」では、節電や省エネ家電の購入など家庭から排出されるCO<sub>2</sub>を削減する生活・エコライフの推進や定着を目指すもので、「環境家計簿」では、実践プログラムでの削減の成果や光熱費の節約による家計への還元を確認することができる。</p>  <p>取り組み内容は、難易度に応じて区分されており、一度取り組みれば効果が持続する<b>初級編</b>、習慣づけていくことで効果が現れる<b>基本編</b>、基本編の中でも特に難しい<b>上級編</b>、車でのお出かけの際に取り組む<b>エコドライブ編</b>に分けられる。</p> <p>それぞれの取り組みには、二酸化炭素排出削減量が併記されており、初級編：156kg-CO<sub>2</sub>、基本編：200kg-CO<sub>2</sub>、上級編：335kg-CO<sub>2</sub>、エコドライブ編：304kg-CO<sub>2</sub>の削減効果がある。</p> <p>・<b>家庭モニターの実施</b></p> <p>実践プログラムの効果の確認や改善点の発見のため、町内から家庭モニター50世帯を募集し、7月～9月の期間に、配布した実践プログラムによる二酸化炭素排出削減効果を測定する（二酸化炭素排出量は、7月～9月の電気使用量を前年同月との比較による調査）。</p> <p>ライフスタイルの変化や家庭モニターの実績に応じて、実践プログラムの内容を改良し、より効果的な地球温暖化対策を実践できるように改善する。</p>

アンケート調査では、77.9%が地球温暖化対策のために「ライフスタイルを変えてでも取り組むべき」と答えたことを参考に、70%の世帯で上級編まで取り組んだ場合、4,155t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素削減効果となる。

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
初級編 (156kg-CO <sub>2</sub> )	← 670.0	50%実施 670.0	670.0	670.0	60%実施 804.0	804.0 →
基本編 (200kg-CO <sub>2</sub> )	0.0	← 859.0	50%実施 859.0	859.0	859.0	60%実施 1,030.8 →
上級編 (335kg-CO <sub>2</sub> )	0.0	0.0	← 1,438.8	50%実施 1,438.8	1,438.8	1,438.8 →
計	670.0	1,529.0	2,967.8	2,967.8	3,101.8	3,273.6

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
初級編 (156kg-CO <sub>2</sub> )	← 804.0	60%実施 804.0	← 938.0	70%実施 938.0	938.0 →
基本編 (200kg-CO <sub>2</sub> )	← 1,030.8	60%実施 1,030.8	1,030.8	70%実施 1,202.6	1,202.6 →
上級編 (335kg-CO <sub>2</sub> )	← 1,726.6	60%実施 1,726.6	1,726.6	70%実施 1,726.6	2,014.4 →
計	3,561.4	3,561.4	3,695.4	3,867.2	4,155.0

計画最終年の2020年までに一世帯当たり4,155 t-CO<sub>2</sub>の削減効果を目指す。

取組実績

平成20年度のモニター調査の結果、二酸化炭素削減効果のあった世帯は50世帯中36世帯で、全体の72%にあたる。  
これらの結果を平均すると、モニター世帯一月当り約12.5kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素削減効果があった。目安として入善町全世帯(8,604世帯)に換算した場合、1年間で1,286.2t-CO<sub>2</sub>の削減効果が見込まれる。

備考

課題として、「CO<sub>2</sub>10,000トン削減実践プログラム・環境家計簿」の認知度と実践率を高めていくために、各地区や婦人会など、一つの家庭だけでなく地域で連動した活動を提言していく必要がある。  
また、現在の紙ベースによる配布の方式から電子データによる配布への切り替えなど、施策自体の省資源化も課題となる。  
なお、個別の二酸化炭素削減効果を計算する場合、取り組み内容を正確に評価するために原単位は、2005年度当時のものを使用する。

CO <sub>2</sub> 10,000 トン削減プロジェクト 企業モニターの実施							
所管	入善町 住民環境課						
施策種別	町内企業での地球温暖化対策の推進						
目的・意義	入善町における産業部門の温室効果ガス排出量の把握と排出の抑制						
対象	町内の企業						
削減効果	10,157.2t-CO <sub>2</sub> /年						
取組内容	<p>町内企業よりモニターを募集し、省エネルギー調査を実施。 平成20年度は、モニター調査を上半期（7月～12月）、下半期（1月～6月）に行い、期間内におけるエネルギー（電気、重油、軽油、灯油、LPG、ガソリン）使用量を対象に前年同月との比較により調査。</p> <p>平成17年度排出量101,571.9t-CO<sub>2</sub>を基準に計画最終年までに二酸化炭素排出量の10%削減の目標を呼び掛ける。</p>						
取組実績	<p>平成20年度は、8社をモニター調査、の二酸化炭素排出量は、49,680.6t-CO<sub>2</sub>で、19年同時期の62,768.1t-CO<sub>2</sub>と比較すると、13,087.4t-CO<sub>2</sub>の削減効果となり、約21%の削減率となった。</p> <p style="text-align: center;"><b>モニター全体での二酸化炭素排出量</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>62,768.1</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>49,680.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	19年度	62,768.1	20年度	49,680.6
年度	排出量 (t-CO <sub>2</sub> )						
19年度	62,768.1						
20年度	49,680.6						
備考	<p>課題としては、各企業の業種の違いにより、統一的な地球温暖化対策を示せないことや景気による生産活動の変化など、地球温暖化対策以外の要因による温室効果ガス削減が見られる。</p>						

## 2 新エネルギー関連施策

下水浄化センターにおける風力発電の活用	
所管	入善町 建設下水道課
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	自然エネルギーの利用促進
対象	下水浄化センター
削減効果	1,257t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>1 概要</p> <p>入善浄化センターは日本海に面し1年を通して風の強い地域特性から、省資源・省エネルギー温室効果ガス削減による地球温暖化防止及び維持費の低減を目的に、風力発電による省エネルギー型の下水道システムを導入。</p> <p>入善町では公共用水域の水質保全と生活環境の改善を目的に、平成8年に下水道事業に着手し、平成13年9月から入善浄化センターの供用を開始。</p> <p>風力発電については、平成12年11月から平成13年10月にかけて入善浄化センター内で風況調査、平成16年度に風力発電設備導入検討調査を実施、平成17年度に詳細設計、平成18年6月から平成19年10月まで風力発電設備工事を行い、稼働は、平成19年11月より開始。</p> <p>2 環境効果</p> <p>浄化センター使用電力量と風力発電量が同じ場合、風力発電機導入により、全設備稼働時に電気使用に係る二酸化炭素排出量は96%削減できるとされる。</p>
取組実績	平成19年6月から平成20年5月までの12ヵ月で、約275万kWhを発電しており、約1,257t-CO <sub>2</sub> /年の二酸化炭素削減効果
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO<sub>2</sub>を用いる</p> <p>※ (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

住宅用太陽光発電システム導入補助制度	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	太陽光発電導入量の拡大のため、一般住宅への太陽光発電システム設置設置費用を補助
対象	入善町内に在住で住宅用太陽光発電システムを設置された方
削減効果	370.6t-CO2/年
取組内容	<p>1 補助制度の概要</p> <p>対象者： 自ら居住する入善町内の住宅に、太陽光発電システムを設置し、かつ国と富山県の補助を受けられた方</p> <p>対象システム： 2kW以上のシステムを設置し、国と富山県の太陽光発電システム補助の要件に適合していること</p> <p>補助金額： 1件あたり10万円（年間15件）</p> <p>【参考】国：1kWあたり7万円 県：1件あたり5万円</p> <p>申請方法： 入善町住民環境課窓口にて、申請書類を提出。</p> <div data-bbox="459 1144 1291 1704" data-label="Diagram"> </div> <p>2 環境効果</p> <p>5kWのシステム1台あたり2,245.9kg-CO2/年の二酸化炭素排出削減効果。毎年15件設置し、累積的に設置者が増加した場合、計画最終年において370.6t-CO2/年の削減効果。</p>
取組実績	平成21年度より実施し、同10月末現在で10名へ補助
備考	

地区公民館における太陽光発電の活用	
所管	入善町 教育委員会事務局
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	自然エネルギーの利用促進
対象	入善まちなか交流施設うるおい館・柵山地区公民館
削減効果	11.9t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>1 概要 まちなか交流施設うるおい館、柵山公民館では屋上に太陽光発電パネルを設置。発電した電力は施設内での照明などに利用。</p> <p>2 環境効果 平成20年度4月～3月の期間において、両施設の太陽光発電パネルでの発電量は、26,547kWh となり、二酸化炭素削減効果は、11.9t-CO<sub>2</sub>。</p>
取組実績	<p>うるおい館では、平成20年4月～21年3月の期間に23,944kWh を発電し、10,774.8kg-CO<sub>2</sub> の二酸化炭素削減効果。</p> <p>柵山公民館では、平成20年4月～21年3月の期間に2,603kWh を発電し、1,171.3kg-CO<sub>2</sub> の二酸化炭素削減効果。</p>
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO<sub>2</sub> を用いる</p> <p>※ (財) 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

小中学校における太陽光発電	
所管	入善町 教育委員会事務局
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	太陽光発電システムによる各学校での二酸化炭素排出抑制
対象	入善町内の小学校（4校）
削減効果	5.7t-CO2/年
取組内容	<p>スクールニューディール計画により太陽光発電システムを町内の小中学校4校（上青小学校・飯野小学校・黒東小学校・入善中学校）に設置し、クリーンエネルギーを使用することで二酸化炭素排出を抑制する。</p> <p>太陽光発電システムは、1基当たり 19.5kWh の発電量を有しており、平均日照時間 1,650 時間に乗じた場合、32,175kW/年の発電量となる。合計では、</p> $32,175\text{kW} \times 4 \text{箇所} = 128,700\text{kW}$ <p>となる。</p> <p>電気の二酸化炭素排出係数を乗じて、</p> $128,700\text{kW} \times 0.45 = 57,915 \text{ kg-CO}_2 = 5.7\text{t-CO}_2$ <p>の二酸化炭素排出削減となる。</p>
取組実績	平成 22 年度より実施
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO2 を用いる</p> <p>※（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

黄色い油田プロジェクト	
所管	J Aみな穂農業協同組合
施策種別	廃油の再利用
目的・意義	家庭での廃油を再利用し、クリーンエネルギーの活用
対象	入善町内の消費者、農家
削減効果	14t-CO2/年
取組内容	<p>町内 15 箇所の回収場所で回収された食用廃油を B D F に精製し、トラクターなどの燃料に使用。</p> <p>また、廃油回収時には、1ℓ当たり 50 円でイエローマネーを交付。イエローマネーは、J Aみな穂農協の直売所で菜種油、地場農産物の購入に使うことができ、地産地消を促進する。</p> <p>廃油は、みな穂農協各支店 11 箇所、営農センター 3 箇所、直売所 1 箇所で回収。</p> <pre> graph TD     subgraph JA_Minahosonai [JAみな穂農協]         Bank[イエローバンク ・廃油回収 ・BDF精製 ・イエローマネー発行・換金]         Recycle[回収場所 (15箇所)]         Direct[直売所]         Bank &lt;--&gt; Recycle         Bank &lt;--&gt; Direct     end     Consumer[消費者] -- 廃油 --&gt; Recycle     Recycle -- "50円/リットルの イエローマネー交付" --&gt; Bank     Bank -- "BDFの提供" --&gt; Farmer[農家]     Bank -- "80円/リットルで 購入" --&gt; Direct     Farmer -- "イエローマネーの換金" --&gt; Bank     Direct -- "イエローマネーで 買い物" --&gt; Consumer     Farmer -- "菜種油・ 地場農産物販売" --&gt; Direct     Farmer -- "菜種作付出荷" --&gt; Direct   </pre>
取組実績	平成 20 年度中に廃油を 4,322ℓ収集、655ℓの菜種油を生産し、B D F を 3,000ℓ精製。22 年度以降は、5,000ℓ/年の B D F を生産していく計画で、軽油の代替エネルギーとして使用した場合、14t-CO2/年の削減効果。
備考	軽油の二酸化炭素排出係数は、2.8kg-CO2 を用いる ※環境庁「総排出量算定方法ガイドライン」より



小水力発電導入の検討	
所管	入善町
施策種別	自然エネルギーの活用
目的・意義	町内の農業用水路での小水力発電
対象	防犯灯、災害時非常用
削減効果	355t-CO2/年
取組内容	<p>入善町は、黒部川扇状地に位置し、年間を通して豊富な水量に恵まれ、農業用水路がくまなく張り巡らされており、扇状地という特性から小水力発電に適した勾配でもあるため、地域全体で小水力発電の導入に適している。</p> <p>本計画では、水力をエネルギー源として活用するとともに、町民の環境意識の向上にも役立てる小水力発電の導入を検討する。</p> <p>100kW 水力発電を設置した場合、788,400kWh/年の発電電力量が期待され、355t-CO2/年の二酸化炭素削減効果となる。</p>
取組実績	
備考	<p>電気の二酸化炭素排出係数は、0.45kg-CO2 を用いる</p> <p>※（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」より</p>

### 3 廃棄物の減量の推進施策

資源回収常設ステーション（再生広場）の設置																																																																											
所管	入善町 住民環境課																																																																										
施策種別	容器包装資源物等の回収																																																																										
目的・意義	町民への容器包装資源物等の持ち込みやすい施設を設置によるごみの減量・資源化の推進																																																																										
対象	町民																																																																										
削減効果	688.9t-CO2/年																																																																										
取組内容 取組実績	<p>1 概要 資源回収常設ステーション（再生広場）を町内の小学校区ごとに6箇所設置し、容器包装資源物（ビン、アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙パック、その他紙容器、ペットボトル、その他プラ容器）を回収。 また、上原再生広場・西部再生広場では、平成20年5月より、容器包装資源物に加え、新聞・雑誌の回収を開始。</p> <p>2 環境効果と取組実績 平成20年（2008年）度4月～3月の期間において、546,271kgを収集し、574t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>0.219</td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>1.613</td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>0.819</td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>3.207</td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>1.140</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>0.678</td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>1.535</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>0.340</td></tr> <tr><td>雑誌</td><td>0.340</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>回収量 (kg)</th> <th>CO2削減量 (kg-CO2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ガラス容器</td><td>5,828</td><td>1,276</td></tr> <tr><td>アルミ缶</td><td>37,000</td><td>59,681</td></tr> <tr><td>スチール缶</td><td>30,210</td><td>24,741</td></tr> <tr><td>段ボール</td><td>139,930</td><td>159,520</td></tr> <tr><td>紙パック</td><td>19,560</td><td>62,728</td></tr> <tr><td>その他紙</td><td>57,748</td><td>65,832</td></tr> <tr><td>ペットボトル</td><td>25,240</td><td>17,112</td></tr> <tr><td>その他プラ</td><td>87,655</td><td>134,550</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>81,980</td><td>27,873</td></tr> <tr><td>雑誌</td><td>61,120</td><td>20,780</td></tr> <tr><td>計</td><td>546,271</td><td>574,093</td></tr> </tbody> </table> <p>3 今後の推計</p> <table border="1"> <caption>今後の推計（回収量）</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>回収量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2006年</td><td>518</td></tr> <tr><td>2007年</td><td>539</td></tr> <tr><td>2008年</td><td>546</td></tr> <tr><td>2011年</td><td>570</td></tr> <tr><td>2014年</td><td>596</td></tr> <tr><td>2017年</td><td>623</td></tr> <tr><td>2020年</td><td>651</td></tr> </tbody> </table> <p>平成16年（2004年）度～平成20年（2008年）度の3年間の平均伸び率105%を3年毎の伸び率として、推計した場合、2020年には、回収率が約1.2倍の651tとなる。</p>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	ガラス容器	0.219	アルミ缶	1.613	スチール缶	0.819	段ボール	1.140	紙パック	3.207	その他紙	1.140	ペットボトル	0.678	その他プラ	1.535	新聞	0.340	雑誌	0.340	品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)	ガラス容器	5,828	1,276	アルミ缶	37,000	59,681	スチール缶	30,210	24,741	段ボール	139,930	159,520	紙パック	19,560	62,728	その他紙	57,748	65,832	ペットボトル	25,240	17,112	その他プラ	87,655	134,550	新聞	81,980	27,873	雑誌	61,120	20,780	計	546,271	574,093	年	回収量 (t)	2006年	518	2007年	539	2008年	546	2011年	570	2014年	596	2017年	623	2020年	651
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)																																																																										
ガラス容器	0.219																																																																										
アルミ缶	1.613																																																																										
スチール缶	0.819																																																																										
段ボール	1.140																																																																										
紙パック	3.207																																																																										
その他紙	1.140																																																																										
ペットボトル	0.678																																																																										
その他プラ	1.535																																																																										
新聞	0.340																																																																										
雑誌	0.340																																																																										
品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)																																																																									
ガラス容器	5,828	1,276																																																																									
アルミ缶	37,000	59,681																																																																									
スチール缶	30,210	24,741																																																																									
段ボール	139,930	159,520																																																																									
紙パック	19,560	62,728																																																																									
その他紙	57,748	65,832																																																																									
ペットボトル	25,240	17,112																																																																									
その他プラ	87,655	134,550																																																																									
新聞	81,980	27,873																																																																									
雑誌	61,120	20,780																																																																									
計	546,271	574,093																																																																									
年	回収量 (t)																																																																										
2006年	518																																																																										
2007年	539																																																																										
2008年	546																																																																										
2011年	570																																																																										
2014年	596																																																																										
2017年	623																																																																										
2020年	651																																																																										
備考	平成21年（2009年）度、中央再生広場の設置により、資源回収の機会を拡大し、目標最終年の2020年には、1.2倍の回収量651t、688.9t-CO2の二酸化炭素削減効果を目指す。																																																																										

地区ステーションでの資源回収																																																	
所管	入善町 住民環境課																																																
施策種別	容器包装資源物等の回収																																																
目的・意義	町内の各地区のごみ集積ステーションで容器包装資源物の回収によるごみの減量・資源化の推進																																																
対象	町民																																																
削減効果	86.8t-CO2/年																																																
取組内容	<p>1 概要</p> <p>町内の各地区のごみ集積ステーションで容器包装資源物（ビン、アルミ缶、スチール缶、段ボール、紙パック、その他紙容器、ペットボトル、その他プラ容器）を回収（毎月1回）。</p> <p>2 環境効果と取組実績</p> <p>平成20年度4月～3月の期間において、107,897kgを回収し、86.8t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" data-bbox="564 1050 828 1442"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラス容器</td> <td>0.219</td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>1.613</td> </tr> <tr> <td>スチール缶</td> <td>0.819</td> </tr> <tr> <td>段ボール</td> <td>1.140</td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>3.207</td> </tr> <tr> <td>その他紙</td> <td>1.140</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>0.678</td> </tr> <tr> <td>その他プラ</td> <td>1.535</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="877 1028 1278 1473"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>回収量 (kg)</th> <th>CO2削減量 (kg-CO2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガラス容器</td> <td>43,946</td> <td><b>9,624</b></td> </tr> <tr> <td>アルミ缶</td> <td>7,548</td> <td><b>12,174</b></td> </tr> <tr> <td>スチール缶</td> <td>10,640</td> <td><b>8,714</b></td> </tr> <tr> <td>段ボール</td> <td>16,180</td> <td><b>18,445</b></td> </tr> <tr> <td>紙パック</td> <td>760</td> <td><b>2,437</b></td> </tr> <tr> <td>その他紙</td> <td>8,772</td> <td><b>10,000</b></td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>6,240</td> <td><b>4,230</b></td> </tr> <tr> <td>その他プラ</td> <td>13,811</td> <td><b>21,199</b></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>107,897</td> <td><b>86,823</b></td> </tr> </tbody> </table>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	ガラス容器	0.219	アルミ缶	1.613	スチール缶	0.819	段ボール	1.140	紙パック	3.207	その他紙	1.140	ペットボトル	0.678	その他プラ	1.535	品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)	ガラス容器	43,946	<b>9,624</b>	アルミ缶	7,548	<b>12,174</b>	スチール缶	10,640	<b>8,714</b>	段ボール	16,180	<b>18,445</b>	紙パック	760	<b>2,437</b>	その他紙	8,772	<b>10,000</b>	ペットボトル	6,240	<b>4,230</b>	その他プラ	13,811	<b>21,199</b>	計	107,897	<b>86,823</b>
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)																																																
ガラス容器	0.219																																																
アルミ缶	1.613																																																
スチール缶	0.819																																																
段ボール	1.140																																																
紙パック	3.207																																																
その他紙	1.140																																																
ペットボトル	0.678																																																
その他プラ	1.535																																																
品目	回収量 (kg)	CO2削減量 (kg-CO2)																																															
ガラス容器	43,946	<b>9,624</b>																																															
アルミ缶	7,548	<b>12,174</b>																																															
スチール缶	10,640	<b>8,714</b>																																															
段ボール	16,180	<b>18,445</b>																																															
紙パック	760	<b>2,437</b>																																															
その他紙	8,772	<b>10,000</b>																																															
ペットボトル	6,240	<b>4,230</b>																																															
その他プラ	13,811	<b>21,199</b>																																															
計	107,897	<b>86,823</b>																																															
備考																																																	

資源回収団体報償制度							
所管	入善町 住民環境課						
施策種別	資源回収の推進						
目的・意義	各種団体による古紙回収への報償制度をもってその活動を支援し、リサイクルの普及を推進						
対象	町民各種団体						
削減効果	184.4t-CO2						
取組内容	<p>1 概要 地区婦人会やPTAなどの各種団体が行う新聞・雑誌等の資源回収量に応じて1kg当たり1円として、報償費を支払う。</p> <p>2 環境効果と取組実績 平成20年度4月～3月の期間において、のべ51団体に542,380円を報償。回収量は、542,380kgで、184.4t-CO2の二酸化炭素削減効果。</p> <table border="1" data-bbox="687 1016 1066 1240"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>CO2係数 (kg-CO2/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞</td> <td>0.340</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>0.340</td> </tr> </tbody> </table>	品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)	新聞	0.340	雑誌	0.340
品目	CO2係数 (kg-CO2/kg)						
新聞	0.340						
雑誌	0.340						
備考							

生ごみ処理工具等設置事業補助金制度			
所管	入善町 住民環境課		
施策種別	家庭ごみの減量		
目的・意義	生ごみ処理機を購入した世帯に対し、補助金を交付し生ごみ処理機の普及による廃棄物の減量		
対象	町民		
取組内容	生ごみ処理機を購入した世帯に対し、購入価格の1/3の補助金（上限2万円）を交付。交付は、1世帯あたり2基まで。		
取組実績	平成20年度4月～3月の期間において、17世帯に計323,585円の補助金を交付。		
	年 度	設 置 基 数	補 助 金 額
	平成15年度	17	122,050円
	平成16年度	34	608,469円
	平成17年度	49	679,706円
	平成18年度	27	484,104円
	平成19年度	14	241,402円
	平成20年度	17	323,585円
備考			

#### 4 森林による二酸化炭素吸収源対策


森林による二酸化炭素吸収源の確保	
所管	建設下水道課
施策種別	森林による二酸化炭素の吸収
目的・意義	入善町内の森林による二酸化炭素の吸収
対象	入善町内の森林
削減効果	900.8t-CO <sub>2</sub> /年
取組内容	<p>入善町内の森林面積は、平成 19 年度で 9,210,000 m<sup>2</sup>となっており、今後は緑化推進により 6,000 m<sup>2</sup>/年ずつ拡張していくことを検討。</p> <p>京都議定書において、森林の炭素吸収源の対象として認められるのは、「森林経営活動」であり、国内の森林面積のうち経営林は、約半分にとどまるとされるので、FM率（森林経営面積割合）を乗じる。森林を樹種（スギ、ヒノキ、その他）・齢級ごとに分類し、各樹種・齢級の 1 ha 当たりの平均炭素吸収係数を乗じる。算出された吸収炭素量に 44（二酸化炭素分子量）/12（炭素分子量）を乗じて二酸化炭素の重さに換算する。</p> <p>平成 19 年時点での入善町内の森林面積の内訳（「平成 19 年度 富山県森林・林業統計書」により按分）は、</p> <p style="padding-left: 40px;">スギ 332ha ヒノキ 1ha その他 588ha (計 921ha)</p> <p>であり、二酸化炭素吸収量は、1,336.6t-CO<sub>2</sub> となる。</p> <p>計画終了年度（平成 32 年）時点での森林面積の予測は、</p> <p style="padding-left: 40px;">スギ 332ha ヒノキ 1ha その他 595ha (計 928ha)</p> <p>であり、二酸化炭素吸収量は、900.8t-CO<sub>2</sub> となる。</p>
取組実績	
備考	<p>※ 二酸化炭素吸収量は、独立行政法人森林総合研究所による吸収炭素量算出方法を参考</p> <p>※ 海岸防災林は、計算上は「その他」に分類</p>

## 5 環境教育・啓発施策

エコライフ推進出前講座																																																													
所管	入善町 住民環境課																																																												
施策種別	普及啓発																																																												
目的・意義	地区・自治公民館に出向き、地球温暖化対策などの講座開催によるエコライフの推進、啓発																																																												
対象	町民																																																												
取組内容	環境家計簿の活用法、エコドライブ、リサイクルにおける分別方法などをはじめ、各地区、団体からの要望に応じて身近で行える地球温暖化対策（エコライフ）の講座を開催。																																																												
取組実績	<p>平成20年度4月～3月の期間において、10団体のべ370人に対し実施。</p> <p style="text-align: center;">平成20年度 CO2一万t削減プロジェクト出前講座等実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>時間</th> <th>実施団体</th> <th>参加人数</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月13日 金</td> <td>18:00～18:20</td> <td>舟見十日会</td> <td>10</td> <td>環境家計簿、地球温暖化について</td> </tr> <tr> <td>6月22日 日</td> <td>19:00～20:00</td> <td>入善小学校4年生親子</td> <td>22</td> <td>ライトダウン見学会</td> </tr> <tr> <td>7月4日 金</td> <td>19:45～20:20</td> <td>目川地区</td> <td>50</td> <td>環境家計簿について</td> </tr> <tr> <td>8月30日 土</td> <td>19:30～21:00</td> <td>横山地区婦人会</td> <td>26</td> <td>CO2一万t削減プロジェクトについて</td> </tr> <tr> <td>10月24日 金</td> <td>19:30～21:00</td> <td>入善地区社会福祉協議会</td> <td>50</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月2日 日</td> <td>19:30～21:00</td> <td>神林老人クラブ・福寿会</td> <td>32</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月7日 金</td> <td>19:30～21:00</td> <td>上原地区社会福祉協議会</td> <td>30</td> <td>エコドライブ、リサイクルについて</td> </tr> <tr> <td>11月12日 水</td> <td>19:30～21:00</td> <td>舟見地区社会福祉協議会</td> <td>50</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月20日 木</td> <td>19:30～21:00</td> <td>野中地区社会福祉協議会</td> <td>35</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td>11月27日 木</td> <td>19:30～21:00</td> <td>新屋地区社会福祉協議会</td> <td>85</td> <td>エコドライブについて</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;"><b>390</b></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 参加人数は原則として実施団体側の発表による</p>	開催日	時間	実施団体	参加人数	主な内容	6月13日 金	18:00～18:20	舟見十日会	10	環境家計簿、地球温暖化について	6月22日 日	19:00～20:00	入善小学校4年生親子	22	ライトダウン見学会	7月4日 金	19:45～20:20	目川地区	50	環境家計簿について	8月30日 土	19:30～21:00	横山地区婦人会	26	CO2一万t削減プロジェクトについて	10月24日 金	19:30～21:00	入善地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて	11月2日 日	19:30～21:00	神林老人クラブ・福寿会	32	エコドライブについて	11月7日 金	19:30～21:00	上原地区社会福祉協議会	30	エコドライブ、リサイクルについて	11月12日 水	19:30～21:00	舟見地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて	11月20日 木	19:30～21:00	野中地区社会福祉協議会	35	エコドライブについて	11月27日 木	19:30～21:00	新屋地区社会福祉協議会	85	エコドライブについて	合計			<b>390</b>	
開催日	時間	実施団体	参加人数	主な内容																																																									
6月13日 金	18:00～18:20	舟見十日会	10	環境家計簿、地球温暖化について																																																									
6月22日 日	19:00～20:00	入善小学校4年生親子	22	ライトダウン見学会																																																									
7月4日 金	19:45～20:20	目川地区	50	環境家計簿について																																																									
8月30日 土	19:30～21:00	横山地区婦人会	26	CO2一万t削減プロジェクトについて																																																									
10月24日 金	19:30～21:00	入善地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて																																																									
11月2日 日	19:30～21:00	神林老人クラブ・福寿会	32	エコドライブについて																																																									
11月7日 金	19:30～21:00	上原地区社会福祉協議会	30	エコドライブ、リサイクルについて																																																									
11月12日 水	19:30～21:00	舟見地区社会福祉協議会	50	エコドライブについて																																																									
11月20日 木	19:30～21:00	野中地区社会福祉協議会	35	エコドライブについて																																																									
11月27日 木	19:30～21:00	新屋地区社会福祉協議会	85	エコドライブについて																																																									
合計			<b>390</b>																																																										
備考																																																													

「エコライフチャレンジ 12」の放送																																								
所管	入善町 住民環境課																																							
施策種別	普及啓発																																							
目的・意義	CATVを活用し家庭から行える地球温暖化対策講座の放送によるエコライフの推進、啓発																																							
対象	町民																																							
取組内容	「エコライフチャレンジ 12」と題して月に1回、CATVで家庭でできる地球温暖化対策講座を放送。冷暖房機具の適切な使用など、季節に応じた地球温暖化対策を全12回放送。																																							
取組実績	<p style="text-align: center;"><b>エコライフ・チャレンジ 12 (年間計画・実施結果)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>テーマ</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>マイバック</td> <td>マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>リサイクル</td> <td>リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>ブラックイルミネーション</td> <td>ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>COOLBIZの推進</td> <td>ノーネクタイでの仕事の推進</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>エアコンの設定温度</td> <td>設定温度は28度を目安にする</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>省エネクッキング</td> <td>土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>エコドライブ</td> <td>燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>モニターインタビュー</td> <td>家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>エコ掃除</td> <td>古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>暖房器具の省エネ</td> <td>暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>待機電力の削減</td> <td>家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>省エネ製品の購入</td> <td>新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">平成20年度4月～3月の期間において、12回放送。</p>	月	テーマ	概要	4月	マイバック	マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える	5月	リサイクル	リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ	6月	ブラックイルミネーション	ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ	7月	COOLBIZの推進	ノーネクタイでの仕事の推進	8月	エアコンの設定温度	設定温度は28度を目安にする	9月	省エネクッキング	土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など	10月	エコドライブ	燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど	11月	モニターインタビュー	家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー	12月	エコ掃除	古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど	1月	暖房器具の省エネ	暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用	2月	待機電力の削減	家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減	3月	省エネ製品の購入	新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める
月	テーマ	概要																																						
4月	マイバック	マイバックを携帯し、レジ袋の使用を控える																																						
5月	リサイクル	リサイクルの推進、再生広場拡張のお知らせ																																						
6月	ブラックイルミネーション	ブラックイルミネーションのお知らせ、照明器具の省エネ																																						
7月	COOLBIZの推進	ノーネクタイでの仕事の推進																																						
8月	エアコンの設定温度	設定温度は28度を目安にする																																						
9月	省エネクッキング	土鍋を使った省エネ、電子レンジの活用など																																						
10月	エコドライブ	燃費が良くなる運転、アイドリングストップなど																																						
11月	モニターインタビュー	家庭モニターでの削減実績が顕著だった世帯に取組内容についてインタビュー																																						
12月	エコ掃除	古新聞を使った掃除、掃除機の省エネなど																																						
1月	暖房器具の省エネ	暖房器具は20℃に設定、こたつは上掛け布団、敷布団を併用																																						
2月	待機電力の削減	家電が使われていないときの電力(待機電力)の削減																																						
3月	省エネ製品の購入	新生活へ向けて省エネ製品の購入を勧める																																						
備考																																								



グリーンカーテンプロジェクト	
所管	入善町
施策種別	省エネルギー、普及啓発
目的・意義	身近な吸収源対策として緑化を実施し、実際の吸収源対策としての効果や地球温暖化対策の普及啓発
対象	入善町庁舎ほか公共施設、町民
取組内容	<p>公共施設などの緑化を推進する。</p> <p>夏季の外部からの日差しや熱を遮断することで、冷房等施設そのものの省エネルギー化を行う。</p> <p>また、建物外部を緑化することで、目に見える地球温暖化対策としての啓発も図る。</p>
取組実績	<p>平成 20 年度入善町庁舎で実施したアサガオのグリーンカーテン。</p> 
備考	

はじめてのエコライフ教室	
所管	富山県、富山県地球温暖化防止活動推進員、入善町住民環境課
施策種別	環境教育
目的・意義	家庭・学校・地域など幅広い年齢層におけるエコライフの実践を推進するため、幼児と保護者等による地球温暖化やエコライフについて学ぶ「はじめてのエコライフ教室」事業を保育所で実施する。
対象	保育所の児童及びその親子・保育所職員
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園・保育所において、省エネやごみ分別等のエコライフについて学ぶ「はじめてのエコライフ教室」を実施。</li> <li>● エコライフを学んだ幼児が、家族と相談の上、蛇口はこまめにしめよう、ごみは分別しよう等の取組項目を3つ選択し、家族とともに1週間実践。また、取組結果を3段階で自己評価。</li> <li>● 幼稚園・保育所においても、取組項目を3つ選択し、職員と幼児が1週間実践。取組結果を3段階で自己評価。</li> <li>● 県において取組結果を取りまとめ、今後の取組み等をアドバイス。</li> </ul>
取組実績	<p>平成 21 年 9 月 30 日、入善町の西部保育所で富山県と富山県地球温暖化防止活動推進員が実施した、はじめてのエコライフ教室の様子。</p> 
備考	

環境フェアの開催	
所管	入善町 住民環境課
施策種別	普及啓発
目的・意義	町民、企業、行政が一体となった環境フェアを開催し、地球温暖化対策への意識を共有し、取り組みの普及を図る
対象	町民、企業
取組内容	<p>①体験型コーナー：自分で電気を作ってみよう（自転車発電・人力発電） カキ氷・新幹線・メリーゴーランド・ポップコーン・綿菓子・自転車発電コンサート・たこ焼き・たい焼き・人力発電エコリンピック・理科教室（水の電気分解など）</p> <p>②環境教育：STOP！地球温暖化！教室（入善町内の小学生とその親を対象とした地球温暖化防止教室）</p> <p>③環境写真展：入善町の環境を写真に撮って応募してもらう。</p> <p>④新エネルギー展示：風力・バイオマス・水力・太陽光・温度差エネルギー・廃棄物発電・クリーンエネルギー自動車</p> <p>⑤企業出展ブース</p> <p>⑥環境ポスター</p> <p>⑦環境鼓笛隊</p>
取組実績	平成 21 年度来場者数：1,800 人
備考	

●具体的な対策による削減見込み数量

これら具体的な対策による削減見込みは、17,832.3t-CO<sub>2</sub> となり、2005年度の二酸化炭素排出量 216,371t-CO<sub>2</sub> の 8.2%に相当します。これに表下の注(※)の対応の上乗せにより削減を 10%とする。

(単位:t-CO<sub>2</sub>)

CO <sub>2</sub> 削減実践プログラムと環境家計簿の配布	4,155.0
企業モニター調査の実施	10,157.2
下水浄化センターでの風力発電	1,257.0
地区公民館での太陽光発電	11.9
小中学校における太陽光発電	5.7
住宅用太陽光発電システム導入事業補助金制度	370.6
黄色い油田プロジェクト	14.0
再生広場での資源回収	688.9
ごみステーションでの資源回収	86.8
資源回収団体報奨制度	184.4
森林による吸収源対策	900.8
計	17,832.3

※ 上記表中以外に小水力発電の利用をはじめ、国及び県が助成する制度による二酸化炭素削減関連諸施策の普及により削減量の上乗せを見込む

### 第3節 原単位の変更による二酸化炭素排出削減量の見込み

入善町地球温暖化対策地域推進計画による直接的な取り組みではありませんが、二酸化炭素削減に関する考え方に影響する大きな要因として、電力会社の発電時の二酸化炭素排出原単位の変化が挙げられます。計画では、計画による地球温暖化対策（二酸化炭素削減）施策以外に、社会的要因として地域での電気使用における二酸化炭素排出原単位の変化を見込み、2020年度における二酸化炭素排出量のより実状に近いものを推計します。

入善町への電力を供給している北陸電力では、2008年から2012年までの5ヵ年平均で原単位を0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhとする環境目標を掲げています。この目標が達成・維持されるとして、2020年度における入善町での電気使用による原単位を0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhとします。

2005年度の北陸電力から入善町全体への電力販売量が370,200MWhであり、2020年度までに計画の地球温暖化対策によって電気使用による二酸化炭素排出量が10%削減され333,180MWhとなったと仮定し、平成17年当時の原単位である0.407kg-CO<sub>2</sub>/kWhを乗じた場合、135,604t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素排出量となります。それに対して、北陸電力の環境目標の原単位0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWhを乗じた場合は、106,618t-CO<sub>2</sub>となるので、これらの差の28,987t-CO<sub>2</sub>を削減効果として見込みます。社会的要因による二酸化炭素排出削減量の28,987t-CO<sub>2</sub>は、2005年度の二酸化炭素排出量の13%に相当します。

	2005年度		2020年度推計	
	入善町全体での電気使用量	370,200MWh		333,180MWh
二酸化炭素排出量	係数0.407	150,671t-CO <sub>2</sub>	係数0.407①	135,604t-CO <sub>2</sub>
			係数0.32②	106,618t-CO <sub>2</sub>
二酸化炭素削減量	(①－②)		28,987t-CO <sub>2</sub>	
二酸化炭素削減率	(2005年度排出量216,371t-CO <sub>2</sub> に対して)		13.4%	

## 第5章 計画の推進

### 第1節 計画の推進体制

地球温暖化対策を総合的に推進していくためには、地球温暖化対策に関する各種の施策を相互に連携させ、体系立てて実施していく必要があります。

このため、庁内組織である入善町地球温暖化対策地域推進庁内検討委員会等を用いて、計画の効率的な推進に努めるとともに、必要に応じて町民や有識者の意見をうかがいながら、入善町における地球温暖化対策の推進を図ります。

### 第2節 町、富山県地球温暖化防止活動推進員、町民、事業者の役割

#### 1 町の役割

##### (1) 率先した取り組みの実施

町は、率先した取り組みを行うことにより、諸施策の展開が町民及び事業所に広がるよう、その実施が求められています。

このため、地球温暖化対策推進法に基づいた「地球温暖化防止入善町役場実行計画」を策定し、庁舎内での事務事業における二酸化炭素排出量削減を目指しています。

##### (2) 地域住民等への情報提供と活動推進

町民や事業者における最も身近な自治体として、富山県、とやま環境財団、富山県地球温暖化防止活動推進センター、富山県地球温暖化防止活動推進員及び入善町環境保健衛生協議会との連携を図り、先駆的取り組みの紹介、環境学習・教育、民間団体活動支援、相談への対応を行う。

## 2 富山県地球温暖化防止活動推進員及び入善町環境保健衛生協議会の役割

富山県では、温室効果ガスを削減するための活動を普及・推進するため、「地球温暖化防止活動推進員」を委嘱し、地域に根ざした温暖化対策の推進を図っています。また、入善町では、入善町環境保健衛生協議会委員により、町が進める地球温暖化対策の推進を図ります。計画における役割は、以下のとおりです。

### (1) 富山県地球温暖化防止活動推進員

- (ア) 自らの日常生活において地球温暖化対策を実践すること。
- (イ) 地球温暖化の現状や地球温暖化対策の重要性について住民の理解を深めるため、環境教育の実施等、普及啓発に努めること。
- (ウ) 町民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガス排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること。
- (エ) 地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う町民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をすること。
- (オ) 温室効果ガス排出の抑制等のために町が行う施策の推進に協力をすること。

### (2) 入善町環境保健衛生協議会

- (ア) 自らが町民の一人としてCO<sub>2</sub>10,000トン削減実践プログラムに取り組み、地域住民への普及啓発を図る。
- (イ) その他町が進める地球温暖化対策の事業の啓発に努める。

### 3 町民の役割

町民の役割としては、CO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラムの実践、地区ステーションや再生広場でのリサイクル、生ごみ処理機の利用、太陽光発電の導入、環境フェアへの参加が挙げられます。

#### (1) 実践プログラムの実施

全戸配布されたCO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラムに取り組み、各家庭内での省エネやエコドライブに努める。また、家電や自家用車等の買い替えの際には、省エネルギー性能の高いものを選ぶように努める。

#### (2) リサイクルの推進

各地区のごみステーションや再生広場または各種団体で実施している資源回収に参加し、リサイクル率の向上に努める。また、ごみと資源を分別することで、ごみの減量化に努める。

#### (3) 生ごみ処理機の設置

町が実施している生ごみ処理工具等設置事業補助金制度を活用し、生ごみ処理機を設置する。設置した生ごみ処理機により、各家庭で生ごみを堆肥化し、ごみの減量化に努める。

#### (4) 太陽光発電等の設置

町が実施している住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助金制度を活用し、太陽光発電システムを設置し、住宅でのクリーンエネルギー化を図る。また、新たな新エネルギー導入施策に際し、その活用を努める。

#### (5) 環境フェアへの参加

町民・事業者・行政が一体となった環境フェアを実施し、地球温暖化を抑制する社会づくりへの取り組みへの理解を深める。また、ライフスタイルを見直す機会とし、家庭での二酸化炭素削減に努める。



## (1) 実践プログラムの実施

全戸配布されたCO<sub>2</sub>10,000 トン削減実践プログラムに取り組み、各家庭内での省エネを実践します。光熱費を節約しながら楽しめる、環境にも家計にもやさしい取り組みです。

### ○初級編

<p><b>冷蔵庫に物を詰め込みすぎない</b></p>  <p>冷蔵庫に物をたくさん入れると、電力を多く使います。また、食品を計画的に購入することで、生ごみを減らすことができます。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>19.9</b> kg削減! <b>960</b> 円お得!</p> <p>※冷蔵庫を満室にした場合と半分にした場合の比較</p>	<p><b>冷蔵庫の設定温度を適温に</b></p> <p>設定温度が低すぎないか見直しましょう。設定を「強」から「中」にしてもなかのものはきちんと冷やすことができます。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>28</b> kg削減! <b>1,360</b> 円お得!</p> <p>※冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」にし</p>
<p><b>52w白熱電球を12w電球型蛍光灯に</b></p> <p>照明器具の電力を落とすことで、CO<sub>2</sub>の排出や電気料を抑えることができます。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>38.1</b> kg削減! <b>1,850</b> 円お得!</p>	<p><b>冷蔵庫は壁から適切な間隔で設置</b></p> <p>冷蔵庫が壁に密着していると、冷却時に負担がかかります。冷蔵庫は壁から3cmほど離して、効率よく使いましょう。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>20.4</b> kg削減! <b>990</b> 円お得!</p> <p>※冷蔵庫の上と両側が壁に接し</p>
<p><b>便座の温度は低めに</b></p> <p>便座の温度を低めに設定し、夏期はOFFにしましょう。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>12</b> kg削減! <b>580</b> 円お得!</p> <p>※設定温度を「中」から「弱」にし、夏期はOFFにした場合</p>	<p><b>冷暖房の温度を適切に設定</b></p> <p>冷房は温度を1℃高く、暖房は温度を1℃低く設定しましょう。</p> <p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>37.7</b> kg削減! <b>1,840</b> 円お得!</p> <p>※冷房を27℃から28℃に設定、暖房を21℃から20℃に設定しそれぞれ1日9時間使用した場合</p>

○基本編

<p><b>エコ掃除を実践する</b></p> 	<p><b>夜更かしをしない</b></p> 
<p>床掃除には、ホウキや畳用ペーパータオルを使用するなどのエコ掃除で、掃除機等の使用を控えましょう。</p>	<p>夜更かしをしない習慣をつけることで、健康に良いだけでなく、照明等の家電の使用を控えることができます。</p>
<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>12.5</b> kg削減! <b>600</b> 円お得!</p> <p>※掃除機の利用時間を1日5分短縮した場合</p>	<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>8.9</b> kg削減! <b>430</b> 円お得!</p> <p>※12W電球型蛍光灯の使用を1日1時間減らした場合</p>
<p><b>シャワーを1回につき1分短く</b></p>	<p><b>家電は主電源から切る</b></p>
<p>シャワーを使うと、水とシャワーの温度を上げるためのエネルギーが必要となります。また、節水を心がけましょう。</p>	<p>家電の中には、リモコンでスイッチを切っても待機電力を使う家電があります。</p>
<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>29.1</b> kg削減! <b>2,980</b> 円お得!</p> <p>※ガス給湯器で45℃の温水の使用を1分短縮した場合</p>	<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>87</b> kg削減! <b>6,000</b> 円お得!</p>
<p><b>電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く</b></p>	<p><b>1日1時間テレビを控える</b></p>
<p>低めの温度で保温して、必要なときにその都度、沸騰させましょう。長時間使わないときはプラグを抜きましょう。</p>	<p>観たいテレビ番組を選んで観るようにしましょう。</p>
<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>48.7</b> kg削減! <b>2,360</b> 円お得!</p> <p>※2.2Lを沸騰させ1L使用した後に、6時間保温した場合とプラグを抜き6時間後に再沸騰した場合の比較</p>	<p>年間で… CO<sub>2</sub> <b>14.4</b> kg削減! <b>700</b> 円お得!</p> <p>※ブラウン管テレビ(25インチ)の場合</p>

## ○上級編

**エアコンを使わずに自然の風を取り入れる**

風のある日や、それほど気温の高くない日は、エアコンの使用そのものを控えて自然の風で涼みましょう。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **8.5** kg削減! **410** 円お得!

※冷房の使用を1日1時間短縮した場合

**入浴は間隔をあけない**

家族で順番を決めて入浴の間隔をなるべくあけないようにし、追い炊きをしないことでガスの節約ができます。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **87** kg削減! **5,920** 円お得!

※2時間放置により4.5℃低下した

**家族団らんを心がける**

家族が別々の部屋で、電気をつけたりテレビを見たりしていると、その分電気を使います。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **240** kg削減! **11,000** 円お得!

## ○エコドライブ編

**ふんわりアクセル**

発進時、5秒間で20km/h程度に到達する加速で、十分な省エネ効果があります。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **194** kg削減! **13,290** 円お得!

※2,000cc普通乗用車で年間10,000km走行とし、平均燃費11.6Km/Lで計算した場合

**加減速の少ない運転**

運転中は、なるべく一定の速度で走ることによって、燃料の消費を抑えられます。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **68** kg削減! **4,660** 円お得!

※2,000cc普通乗用車で年間10,000km走行とし、平均燃費11.6Km/Lで計算した場合

**早めのアクセルオフ**

アクセルから足を離すことで、エンジンへの燃料供給が止まります。停止時には、早めのアクセルオフを心がけましょう。

年間で…  
CO<sub>2</sub> **42** kg削減! **2,880** 円お得!

※2,000cc普通乗用車で年間10,000km走行とし、平均燃費11.6Km/Lで計算した場合

(出典：環境省「身近な地球温暖化対策」、(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」)

## (2) リサイクルの推進

各地区のごみステーションや再生広場での容器包装資源物（アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビン、紙製飲料容器、その他紙製容器、その他プラ容器、段ボール、新聞、雑誌〔※新聞・雑誌は、中央・上原・西部再生広場で収集〕）資源回収を実施しています。

また、町では、各種団体で実施した資源回収に対しては、新聞・雑誌の収集量に対し、1kg当たり1円の報償費を支払っています。

また、一般ごみと資源ごみの分別を徹底し、ごみの減量化に努めます。

回収拠点	回収場所数	管理主体	収集資源物
地区ステーション	町内97ヶ所	地区	アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビン、紙製飲料容器、その他紙製容器、その他プラ容器、段ボール
再生広場	町内校区6ヶ所	町	アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、ビン、紙製飲料容器、その他紙製容器、その他プラ容器、段ボール、新聞、雑誌 (※新聞・雑誌は、中央・上原・西部再生広場で収集)
各種団体資源回収	—	各種団体	新聞、雑誌等(町の補助対象は、新聞・雑誌のみ)

### (3) 生ごみ処理機の設置（ごみの減量化）

入善町では、家庭の台所から排出される生ごみの削減を推進しています。入善町生ごみ処理器具等設置事業補助金制度では、家庭用生ごみ処理機を購入した世帯に購入価格の1/3を補助しています。

#### 補助制度の概要

対象者	入善町在住の方で、生ごみ処理器具等を購入された世帯（一世帯につき2基まで）
対象器具	電動生ごみ処理機やコンポスト
補助金額	購入価格の1/3（2万円上限）
手続きに必要なもの	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生ごみ処理機購入の領収書</li><li>・ 印鑑</li><li>・ 振込先の通帳</li></ul>

#### 交付申請から補助金交付までの流れ



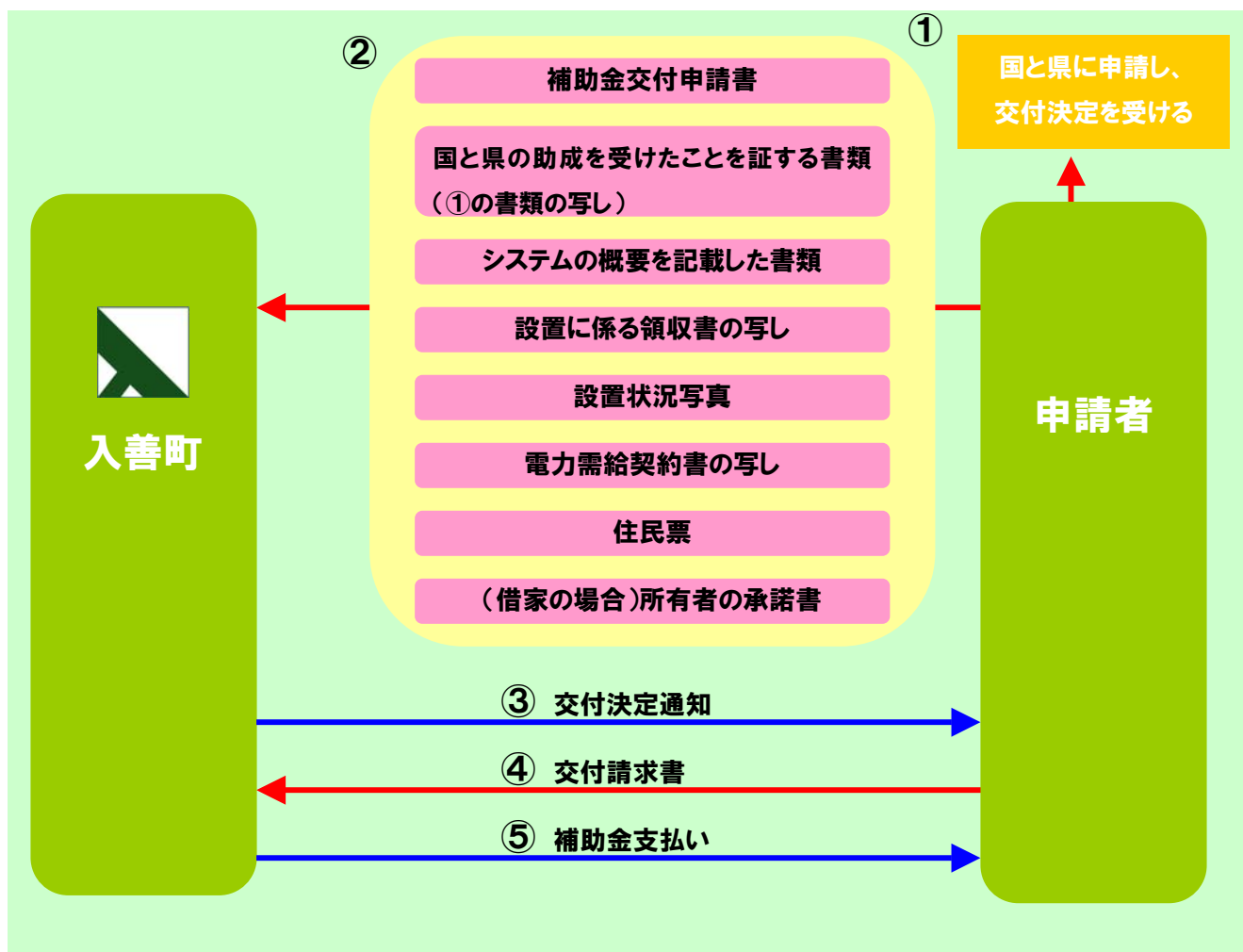
#### (4) 太陽光発電の設置（新エネルギーの導入）

太陽光発電導入量の拡大のために、入善町では、平成 21 年度から入善町住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助金制度を開始し、一般住宅への太陽光発電システム設置を支援します。

#### 補助制度の概要

対象者	自ら居住する入善町内の住宅に、太陽光発電システムを設置し、かつ国と富山県の補助を受けられた方
対象システム	2kW以上のシステムを設置し、国と富山県の太陽光発電システム補助の要件に適合していること
補助金額	1件あたり10万円
申請方法	入善町住民環境課窓口にて、申請書類を提出してください。

#### 交付申請から補助金交付までの流れ



#### **(5) 環境フェアへの参加**

町民・事業者・行政が一体となった環境フェアへ参加し、入善町内の地球温暖化対策をはじめとした環境に対する取り組みへの知識を深めます。

また、環境フェアでは、町民が主体となり参加するイベントも実施し、啓発をされる側だけではなく、啓発をする側としても参加し、町民から町民へのより親しみやすい啓発を実施し、二酸化炭素の削減に努めます。

#### **町民の参加によるイベント例**

- ・各企業展示ブース
- ・人力発電体験コーナー
- ・牛乳パックハガキ作り体験コーナー など

#### **町民が主体となる環境フェアのイベント例**

- ・eco 市場～フリマでリサイクル～
- ・各種団体（婦人会等）環境活動展示ブース
- ・小中学生環境ポスター
- ・環境写真展 など

## 4 事業者の役割

### (1) 環境経営の取り組み促進

企業の社会的責任という観点から、社会的で環境に配慮をした環境経営、企業姿勢に取り組みます。本計画の中では、企業モニターの実施し、その参加企業においては、自主的な計画を策定するなど地球温暖化対策に向けて取り組み、実施状況を点検します。

また、町等が実施する地球温暖化防止活動に協力します。

### (2) 創意工夫を凝らした取り組み

それぞれの事業者が創意工夫を凝らしつつ、事業内容等に照らして適切で効果的・効率的な地球温暖化対策を幅広い分野において自主的かつ積極的に実施します。

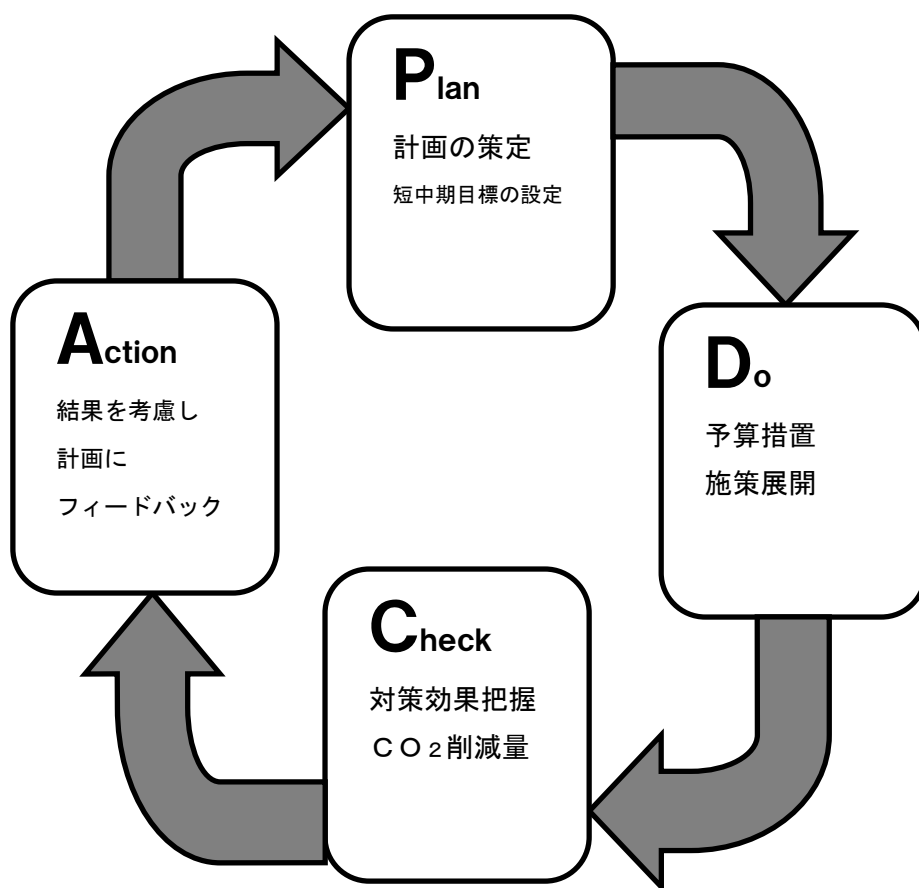
また、省二酸化炭素排出型製品の開発、廃棄物の減量等、他の主体の温室効果ガスの排出抑制等に寄与するための措置も可能な範囲で推進していきます。



### 第3節 計画の進行管理

#### 1 PDCAサイクルによる運行管理

地球温暖化対策に向けた目標を策定し、町として実施すべき地球温暖化対策、施策を立案すること（**Plan**）にはじまり、その計画に則り適切な政策措置を講ずることで施策を実行すること（**Do**）に続き、その実施状況や得られる削減効果等を定期的に把握すること（**Check**）を行い、さらにその結果を考慮し、行動に対しフィードバックを行うこと（**Action**）を一連のサイクルとして実施していくことが必要です。



## 資料

### 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会及び庁内検討委員会について

#### 1. 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）第26条の規定に基づき、町民、事業者及び行政の協働により、入善町地球温暖化対策地域推進計画（以下「地域推進計画」という。）を策定するため、入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、地域推進計画の策定に関する調査、検討及び調整を行い、町長に対して助言を行うものとする。

(組織等)

第3条 委員会は、委員17人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから町長が委嘱又は任命する。

- (1) 見識を有する者
- (2) その他町長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員会の委員の任期は、平成22年3月31日までとする。

2 前項の規定にかかわらず、第3条により委嘱又は任命された委員は、当該職を退いたときは、委員の職を失うものとする。

3 委員が欠けた場合における後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が認めたときに招集する。

2 会議の議事は、委員長がこれに当たる。

3 委員に事故があるときは、代理者の出席を妨げない。

4 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の関係者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

5 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、住民環境課において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月24日から施行する。

## 2. 入善町地球温暖化対策地域推進計画庁内検討委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 入善町地球温暖化対策地域推進計画（以下「地域推進計画」という。）の策定及び地域推進計画策定後の地球温暖化対策について検討するため、入善町地球温暖化対策地域推進計画庁内検討委員会（以下「庁内検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 庁内検討委員会は、地域推進計画策定にあたり、必要な事項の検討を行い、その結果を町長に報告する。

2 庁内検討委員会は、地域推進計画策定後の地球温暖化対策についての検討を行う。

(組織等)

第3条 庁内検討委員会は、関係課の職員で組織し、町長が任命する。

2 委員長は、住民環境課長がこれに充たり、委員長に事故があるときは生活環境係長がこれを代行する。

(会議)

第4条 委員長は、必要に応じて庁内検討委員会を招集する。

(ワーキンググループ)

第5条 ワーキンググループ員は、職員の中から町長が任命する。

2 ワーキンググループは、庁内検討委員会と地域推進計画の策定及び地域推進計画策定後の地球温暖化対策に必要な事項について、関係行政機関及び団体等と調整を行う。

(庶務)

第6条 庁内検討委員会等の庶務は、住民環境課内で処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、庁内検討委員会の運営に関し必要な事項は、町長が定める。

附 則

この要綱は、公表の日から施行する。

### 3. 委員名簿

#### (1) 入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会

氏名	区分	所属・役職	備考
九里 徳泰	学識経験者	富山県立大学教授	委員長
津田 伸也	有識者	とやま環境財団専務理事	副委員長
中山 立	産業関係者	入善町商工会	
西村 清	産業関係者	みな穂農協組合	
大田 朗	産業関係者	入善町経営者協会	
松島 唯志	住民代表	小摺戸地区区長	
小路 みつ子	住民代表	入善町連合婦人会会長	
夏山 鈴順	地球温暖化防止活動推進員	富山県地球温暖化防止活動推進員	
藤井 原	地球温暖化防止活動推進員	富山県地球温暖化防止活動推進員	
飯田 貞	教育関係者	入善町小中学校長会	
中瀬 範幸	入善町議会	入善町議会環境・地域活性化対策特別委員長	
林 栄佐雄	入善町	入善町副町長	
室 均	庁内検討委員会	住民環境課長	

#### (2) オブザーバー

氏名	区分	所属・役職	備考
吉森 信和	オブザーバー	富山県環境政策課地球環境係長	

#### (3) 庁内検討委員会

氏名	区分	所属・役職	備考
室 均	委員長	住民環境課長	
田中 広司	委員	総務課長	
寺崎 登	委員	農水商工課長	
草島 隆良	委員	建設下水道課長	
小森 裕	委員	教育委員会事務局長	

#### (4) 事務局

氏名	区分	所属・役職	備考
野村 慎吾	事務局	住民環境課	
上田 慎吾	事務局	住民環境課	
樋口 恭兵	事務局	住民環境課	

#### 4. 策定委員会の経過

##### 第1回

日 時	平成 21 年 9 月 30 日（火）14：30～
場 所	まちなか交流施設 うるおい館 多目的ホール
議 事	<ul style="list-style-type: none"><li>・入善町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会の設置について</li><li>・入善町地球温暖化対策地域推進計画策定事業について</li><li>・今後のスケジュール（案）について</li><li>・地球温暖化対策地域推進計画に関する住民アンケート調査について</li><li>・その他</li></ul>

##### 第2回

日 時	平成 21 年 11 月 10 日（火）14：00～
場 所	まちなか交流施設 うるおい館 多目的ホール
議 事	<ul style="list-style-type: none"><li>・地球温暖化に関するアンケート調査結果の概要について</li><li>・入善町地球温暖化対策地域推進計画原案について</li><li>・その他</li></ul>

##### 第3回

日 時	平成 22 年 2 月 2 日（火）14：00～
場 所	まちなか交流施設 うるおい館 イベントホール（3）
議 事	<ul style="list-style-type: none"><li>・入善町地球温暖化対策地域推進計画（案）の承認について</li><li>・第2回策定委員会での指摘事項の対応について</li><li>・その他</li></ul>



## 入善町地球温暖化対策地域推進計画

---

平成22年3月発行

発行／富山県入善町

富山県下新川郡入善町入膳 3255

TEL : (0765) 72-1100

Mail : info@town.nyuzen.toyama.jp